

SEIKO

スポーツタイマー

ST-306

取扱説明書

このたびは、セイコー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管してください。

セイコータイムクリエーション株式会社


SEIKO TIME CREATION INC.


－ ご注意 －

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されております。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定のサービス部門以外の第三者により修理・変更されたことに起因して生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

－ 本書で使用の記号について －

本書に使用される表示の意味は次の通りです。

 警告	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
---	--

 注意	誤った取り扱いをしたとき、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
---	---

次の絵表示は、禁止事項を示します。



一般的な禁止



分解禁止

次の絵表示は、必ず実行していただく事項を示します。



一般的な指示

目次











1	安全のために必ずお守りください	5
2	特長	7
3	梱包品	7
4	各部の名称と機能	8
(1)	スポーツタイマー	8
(2)	グリップスイッチ	8
(3)	電池ボックス	9
(4)	操作パネル（本体左側面）	10
(5)	収納パネル（本体右側面）	11
5	お使いになる前に	12
(1)	乾電池の装着	12
(2)	電池ボックスの接続	13
(3)	グリップスイッチの接続	15
(4)	電池電圧のチェック	15
(5)	セルフチェック動作	15
(6)	計測および表示範囲	15
6	スポーツタイマーの設置	16
(1)	一般的な設置	16
(2)	オプションによる設置	16
7	FUNCTION スイッチの設定	18
8	使い方（1） 加算	19
(1)	0からの加算	19
(2)	設定時間からの加算	21
9	使い方（2） 加算リピート	22
(1)	初期設定	22
(2)	時間設定	22
(3)	操作および表示	22
10	使い方（3） 減算	23
(1)	初期設定	23
(2)	時間設定	23
(3)	操作および表示	23

1 1	使い方 (4) 減算レポート	24
(1)	初期設定	24
(2)	時間設定	24
(3)	操作および表示	24
1 2	使い方 (5) 減算から加算 (手動)	25
(1)	初期設定	25
(2)	時間設定	25
(3)	操作および表示	25
1 3	使い方 (6) 減算から加算 (自動)	26
(1)	初期設定	26
(2)	時間設定	26
(3)	操作および表示	26
1 4	使い方 (7) 時計表示	27
(1)	初期設定	27
(2)	時間設定	27
(3)	操作および表示	27
1 5	使い方 (8) スコア/回数表示 [標準得点]	28
(1)	初期設定	28
(2)	操作および表示	28
1 6	使い方 (9) スコア/回数表示 [硬式テニス]	29
(1)	初期設定	29
(2)	操作および表示	29
(3)	初期値設定 (Deuceの得点を決定)	30
1 7	使い方 (10) スコア/回数表示 [軟式テニス]	31
(1)	初期設定	31
(2)	操作および表示	31
(3)	初期値設定 (Deuceの得点を決定)	32
1 8	使い方 (11) スコア/回数表示 [回数表示]	33
(1)	初期設定	33
(2)	操作および表示	33
(3)	初期値設定	33










19	その他の機器との接続	34
(1)	スコアオペレーションユニット(ST-23)との接続 ※ST-23は生産終了品です	34
(2)	信号分岐BOX(ST-22)との接続 ※ST-22は生産終了品です	34
(3)	スポーツプリンタ(CT-2000Ⅱ/2000/1000/916)との接続〔通常動作モード〕	35
(4)	スポーツプリンタ(CT-2000Ⅱ/2000/1000/916)との接続〔外部同期モード〕	36
(5)	エレクトロニックスタータ(PS-110/107/105)との接続	37
(6)	スキー競技用計時装置(CT-500/400/300)との接続	37
(7)	競泳用自動審判計時装置(PT-8000/7000/6000)との接続	38
(8)	室内競技操作盤(ST-2000/900/800シリーズ)との接続	39
(9)	ランニングタイム操作盤(RT-520/120)との接続	39
(10)	デジタル風速操作盤(WG-300/200)との接続	40
(11)	光波距離計(DM-400/200)との接続	40
(12)	接続上の注意	41
20	操作上の注意点	43
(1)	電源投入の方法	43
(2)	ブラックアウト(無表示)の方法	43
(3)	メモリ読み出し後の再スタート方法	43
(4)	ブザー	43
21	お使いの後に	43
22	仕様	44
23	故障と思われる前に	45

1 安全のために必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい注意事項を示しています。

 警告		
異常時の処理	<p>煙が出たり、変な臭いがするなど異常が発生したときは、すぐに POWER(パワー) スイッチを切ってください。</p> <p>そのまま使うと、感電や火災の原因になります。</p> <p>修理・点検はお買い上げいただいた販売店もしくは、販売会社へご依頼ください。</p>	
異物混入禁止	<p>製品の内部にピン・金属などの異物を入れないでください。</p> <p>万一、これらが内部に混入した場合は速やかに POWER(パワー) スイッチを切ってください。</p> <p>そのまま使うと、感電や火災の原因になります。</p> <p>修理・点検はお買い上げいただいた販売店もしくは、販売会社へご依頼ください。</p>	
分解・修理・改造の禁止	<p>修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造を行わないでください。</p> <p>修理・点検はお買い上げいただいた販売店もしくは、販売会社へご依頼ください。感電や火災の原因になります。</p>	
機材の設置	<p>スポーツタイマーを屋外に常設することや水没するおそれのある場所には設置しないでください。感電や火災の原因となります。</p>	
	<p>平坦な場所を選び、風圧・接触・振動などで製品が落下しないよう設置してください。人身事故に至ることがあります。</p>	
	<p>スタンド(ST-20/ST-030)や車載用金具(ST-21)を使用し、スポーツタイマーを取り付けるときは、固定ネジを十分に締め付けてください。風圧・接触・振動などで製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。</p>	
	<p>スタンド(ST-20/ST-030)を使用し、スポーツタイマーを取り付けたときは、風速 15m/s 以上では使用しないでください。製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。</p>	
	<p>車載用金具(ST-21)を使用し、スポーツタイマーを取り付けたときは、車速を 30km/h 以上にしないでください。製品が落下し、人身事故に至ることがあります。</p>	
	<p>チーム名表示ユニット(ST-24)を取り付けるときは、チョウナットを十分に締め付け、丸棒を穴にきちんと差し込んでください。風圧・接触・振動などで製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。</p>	

⚠ 注意

ケーブルの 接続	ケーブルを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたり、無理に曲げないでください。感電や事故の原因になります。	
	機器付属ケーブル、外部機器接続専用ケーブル以外はご使用にならないでください。 焼損や故障の原因になります。	
	濡れた手でケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。 感電するおそれがあります。	
	ケーブルを抜き差しする時は、 POWER(パワー) スイッチを切ってから行ってください。但し、CT-2000Ⅱ/2000/1000/916 と接続して外部同期モードで使用するときは除く。	
<p>次のことをお守りください。</p> <p>乾電池の破裂・液漏れ・発熱により、けがや周囲の汚損の原因になります。</p>		
乾電池の 取り扱い	単三のアルカリ乾電池(LR6)または、マンガン乾電池(R6PU)以外は使用しないでください。	
	アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。	
	新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。最初の装着や交換のときは、全部新しい乾電池を使用してください。	
	乾電池を製品に入れるときは、表示通りの極性に入れてください。 故障や異常動作の原因になります。	
	使用後は、乾電池を必ず抜いてください。 液漏れ等で故障の原因になります。	

2 特長

- (1) 6桁表示、文字高200mm、質量12.5kg、設置・運用は簡単で本格的な機能を備えた大型デジタルスポーツタイマーです。
- (2) 加算タイマーとして、水泳、陸上トラック、マラソン、競歩、スキー、自転車、サッカー、ラグビー競技などのタイム計測やゲームタイムの表示ができます。
- (3) テニスの得点表示や回数表示ができます。
- (4) 減算タイマーとして、バスケットボールなどの減算表示ができます。
- (5) 時間設定が最大①99時間59分59秒、②59分59秒9、③59分59秒99の3種類の切替えが可能なので、多種の競技に対応できます。
(但し、カウント中は1/10秒、1/100秒は表示されません。)
- (6) ラップ、スプリット、ゴールタイムが計測でき、さらにメモリ機能により、ラップかスプリットのいずれか1つを最大25名までメモリし再表示することができます。
(例：ゴールタイムを1着～25着まで着順とタイムをメモリし、スポーツタイマー上に再表示できます)
- (7) 加算機能は0秒からの加算と設定時間からの加算の2モードがあります。
- (8) 減算機能には、0秒まで減算をしてから加算する機能があり、マラソン競技等に最適です。
- (9) リピート（自動繰り返し）機能により、一定間隔でタイムの加算、減算を繰り返し、設定時間にブザーを鳴らすことができるので、ペースクロックとしても使用できます。
- (10) 電源は乾電池式なので、屋内、屋外（常設は不可）いずれでも使用できます。
- (11) 各種セイコースポーツ機器と連動して使用できます。

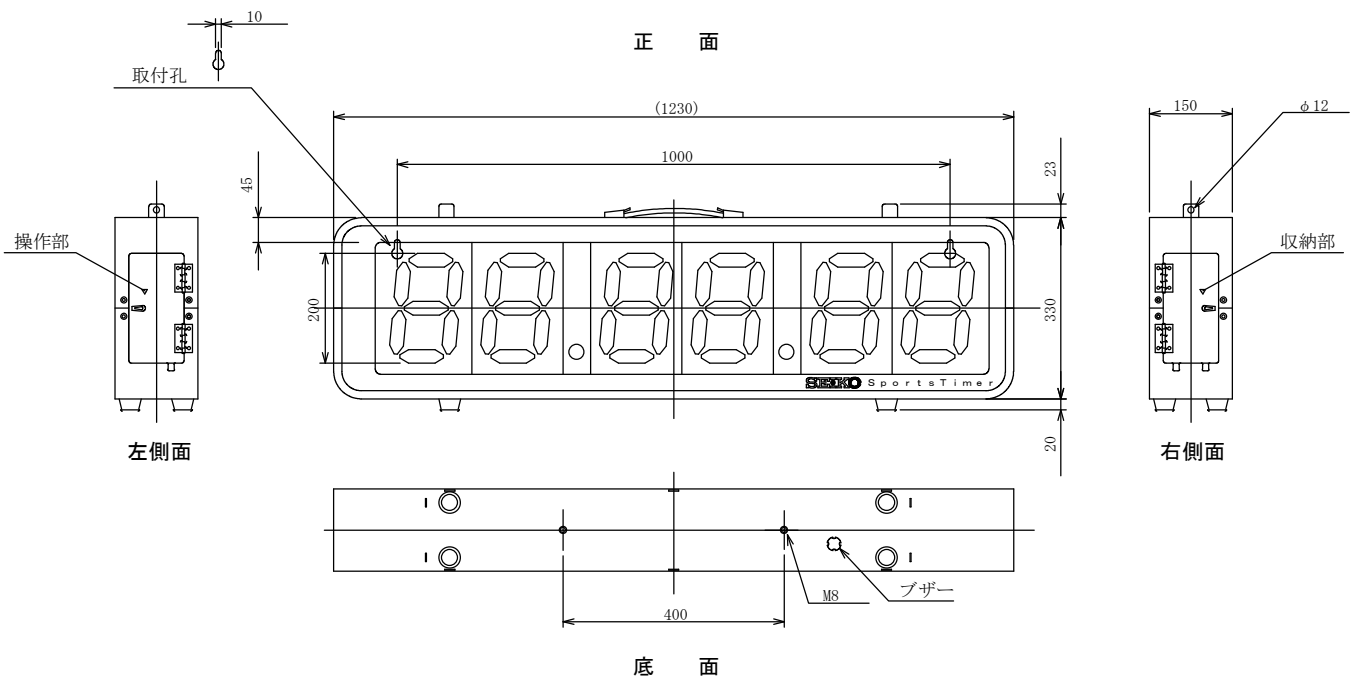
3 梱包品

- ・スポーツタイマー
- ・グリップスイッチ（グリップスイッチ収納ポケット内）
- ・電池ボックス（電池ボックス収納ポケット内）
- ・取扱説明書
- ・保証書

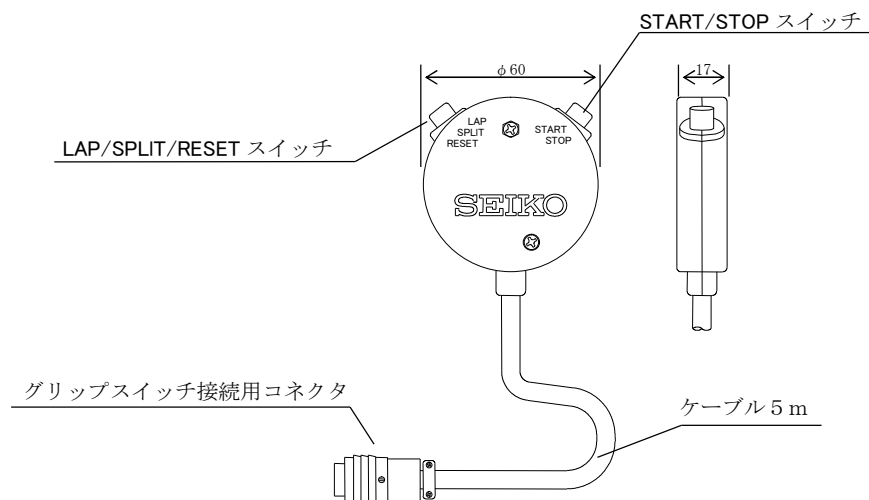
※製品の開梱時にご確認ください。

4 各部の名称と機能

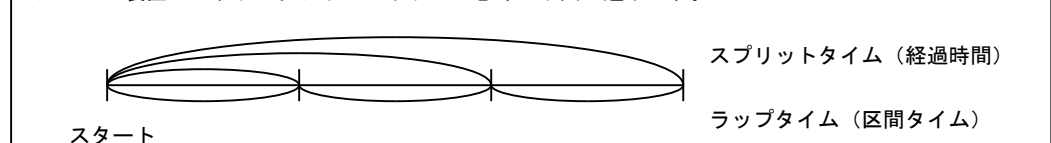
(1) スポーツタイマー



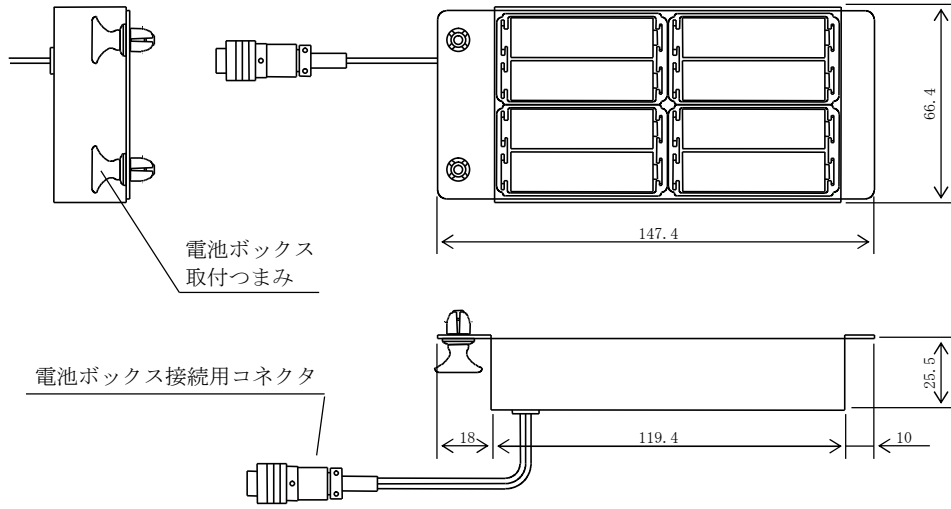
(2) グリップスイッチ



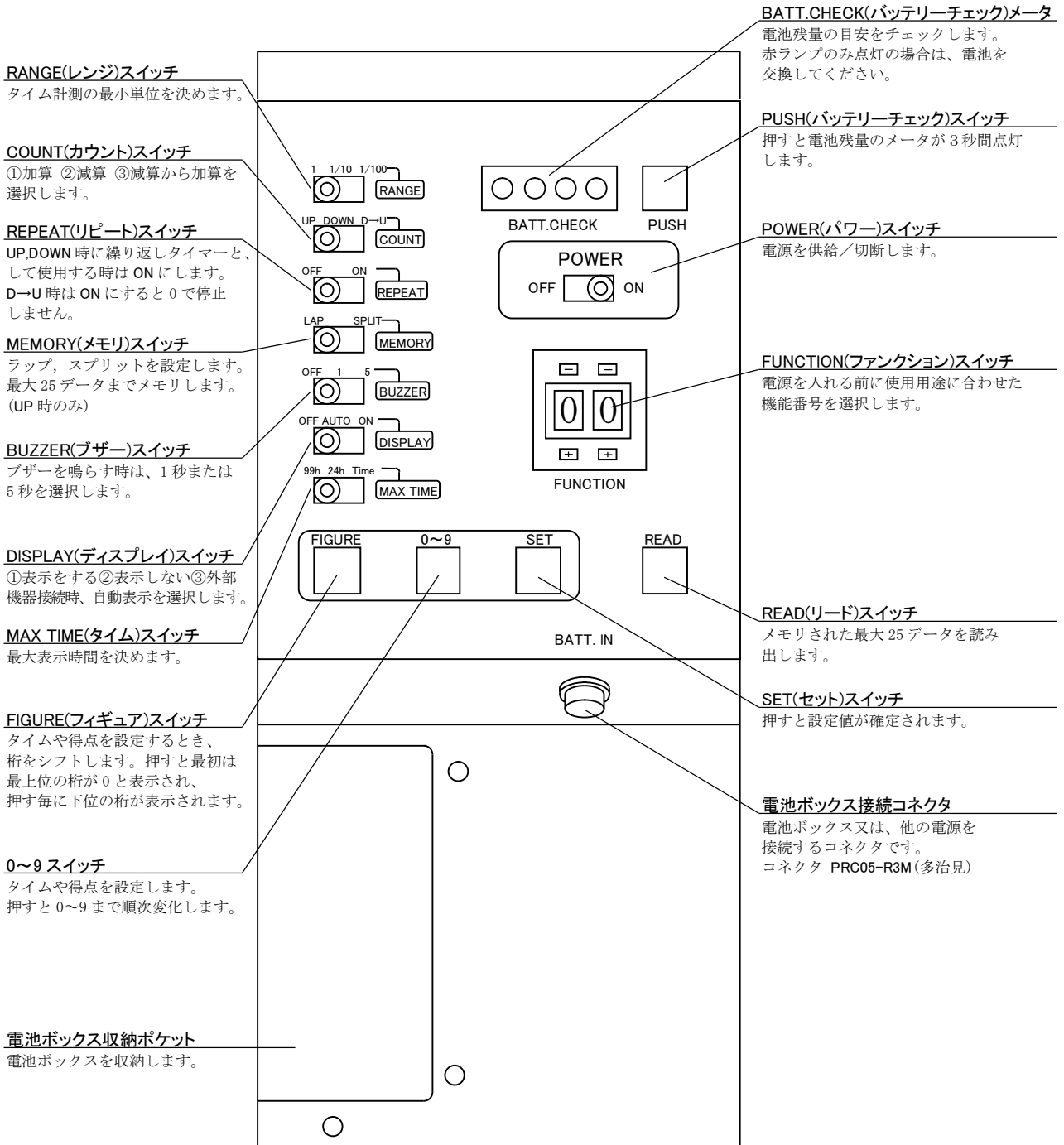
注：この装置ではラップおよびスプリットの意味は下図の通りです。



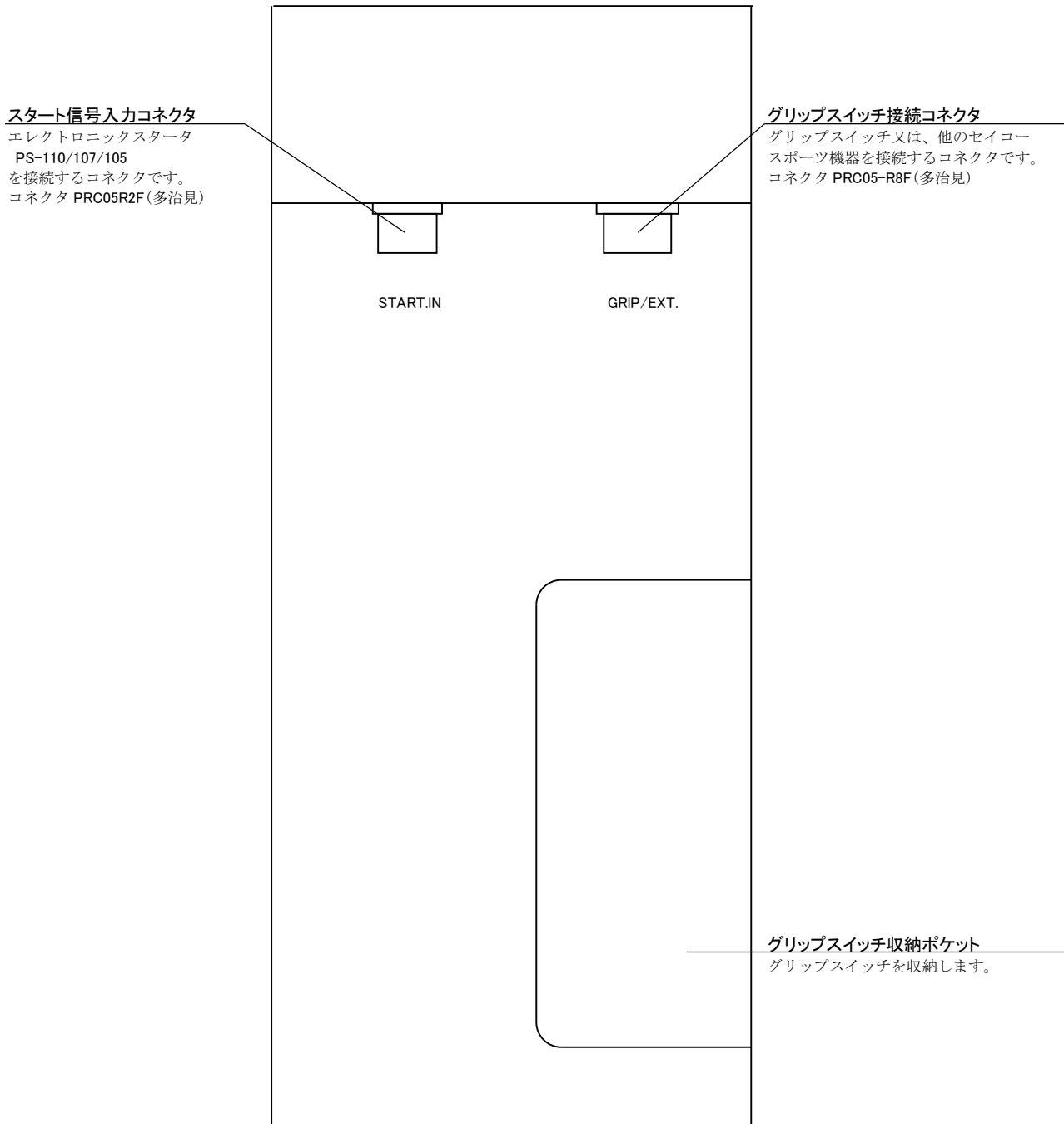
(3) 電池ボックス



(4) 操作パネル (本体左側面)



(5) 収納パネル (本体右側面)

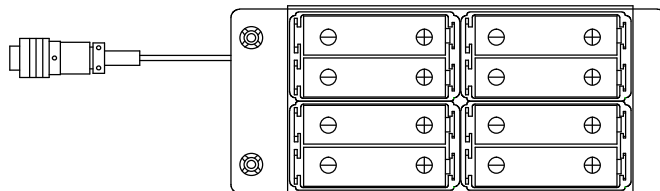


5 お使いになる前に






(1) 乾電池の装着

単三のアルカリ乾電池(LR6)または、マンガン乾電池(R6PU)を8本、電池ボックスに入れてください。

※乾電池は付属していません。

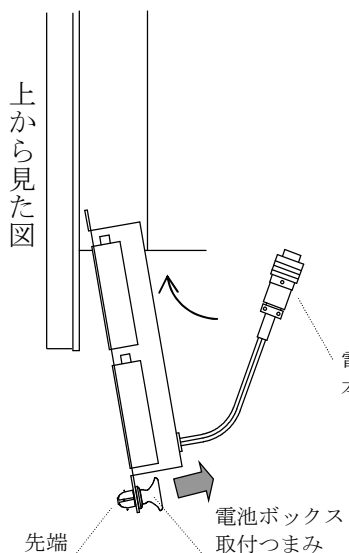


●乾電池の取り扱いについて

次のことをお守りください。 乾電池の破裂・液漏れ・発熱により、けがや周囲の汚損の原因になります。	
 注意	単三のアルカリ乾電池または、マンガン乾電池以外は使用しないでください。 
	アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。 
	新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。最初の装着や交換のときは、全部新しい乾電池を使用してください。 
	乾電池を製品に入れるときは、表示通りの極性に入れてください。故障や異常動作の原因となります。 

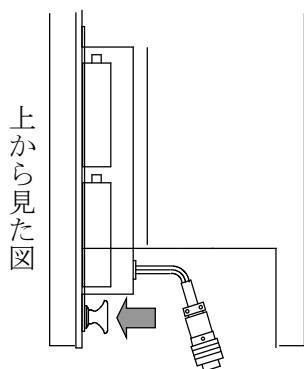
(2) 電池ボックスの接続

[電池ボックスの収納方法]

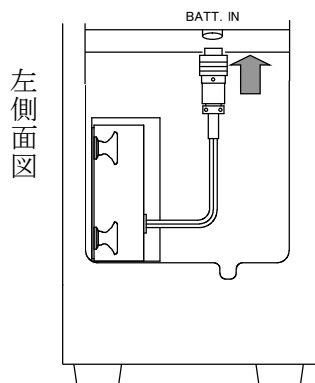


- ① あらかじめ電池ボックス取付つまみを
▶方向へ引いた状態にし、電池ボックスを
本体の背面に沿うように入れます。
電池ボックス取付つまみの先端を本体側の
取付穴に合わせて挿入します。

[注] 必ず電池ボックスのコネクタを本体に
接続する前に行ってください。
ケーブルが断線するおそれがあります。

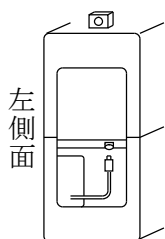


- ② 電池ボックス取付つまみを▶方向へ
『パチン』と鳴るまで指で押し込みます。
その際、必ず電池ボックスが本体に
固定されていることを確認してください。



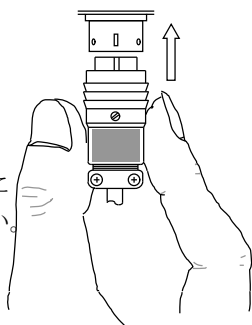
左側面図

- ③ 最後に、電池ボックス側のコネクタを本体の **BATT.IN** コネクタに差し込みます。

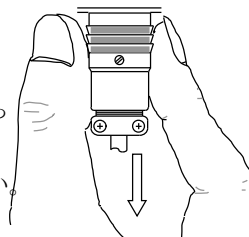


左側面

(取り付け)
図の部分を持ち
溝を合わせて
カチャッと音が
するまでまっすぐに
差し込んでください。



(取り外し)
図の部分
引っ張りながら
まっすぐに
抜いてください。



〔電池ボックスの取り外し方〕

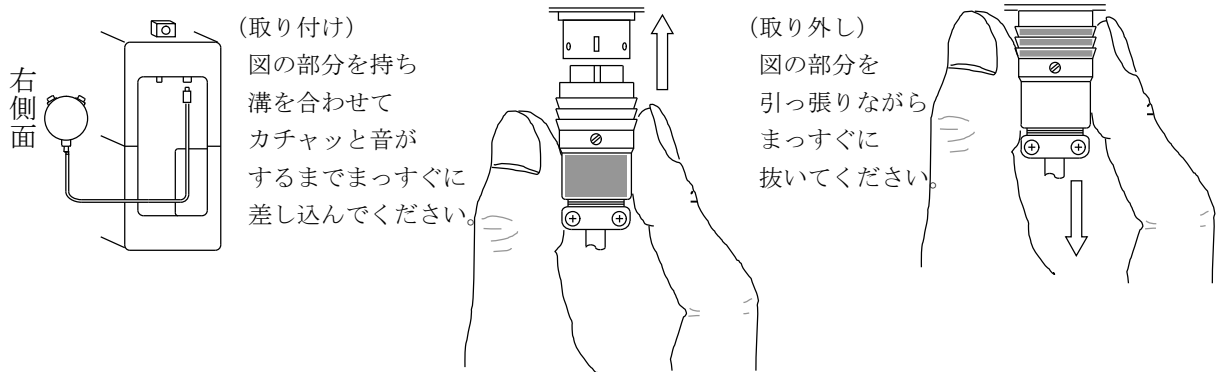
最初に、電池ボックス側のコネクタを本体の **BATT.IN** コネクタより外します。
電池ボックス取付つまみを軽く引いて、そのまま電池ボックスを本体から離し、手前に引き出します。

(取付方法の逆に③ ② ①の順に行ってください。)

〔注〕 電池ボックス取付つまみを強く引かないでください。
電池ボックスより抜ける恐れがあります。

(3) **グリップスイッチの接続** (電池ボックス用コネクタの接続と同じ要領です。)

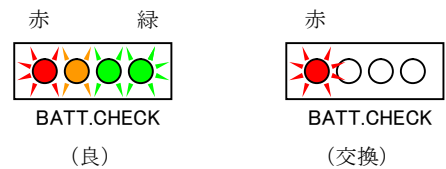
収納部扉内のグリップスイッチを引き出し、
収納パネルの GRIP/EXT.コネクタに差し込みます。



(4) **電池電圧のチェック**

POWERスイッチ (操作部) を ON にして、
BATT.CHECK ボタンを押し
バッテリーチェックメーターを確認してください。

※ランプが1つしか点灯しないときは、速やかに電池を交換
してください。正常に動作しません。(反転不良による誤表示)



	注意	乾電池を交換するときは、「乾電池の取り扱いについて」の注意事項をお守りください。けがや周囲の汚損の原因となります。	
--	----	---	--

(5) **セルフチェック動作**

使用前に全桁の動作確認ができます。

〔表示順序〕

FUNCTION を『0 0』にしてください。
0～9 スイッチおよび **SET** スイッチを同時に
3秒以上押し続けてください。
動作が始まったら放してください。
動作は1回のみです。繰り返す場合は、
再び3秒以上押し続けてください。

ブラック
0
1
:
:

ブラック
ブラックに変わると同時に
約5秒間ブザーが鳴ります。

(6) **計測および表示範囲**

レンジ (最小表示単位)	最大表示	備考
1秒	99時間 59分 59秒	}
1/10秒	59分 59秒 9	
1/100秒	59分 59秒 99	
カウント中は、1秒位未満はブラックアウト		



〔注〕 外部からの表示信号を受ける場合は、レンジスイッチの設定に従って表示します。

6 スポーツタイマーの設置

※ST-21, ST-24 は生産中止品です

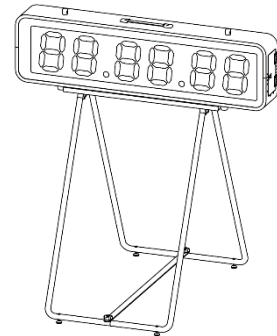
(1) 一般的な設置




下記のことにご注意してご使用ください。

 警告	平坦な場所を選び、風圧・接触・振動などで製品が落下しないよう設置してください。人身事故に至ることがあります。	
---	--	---

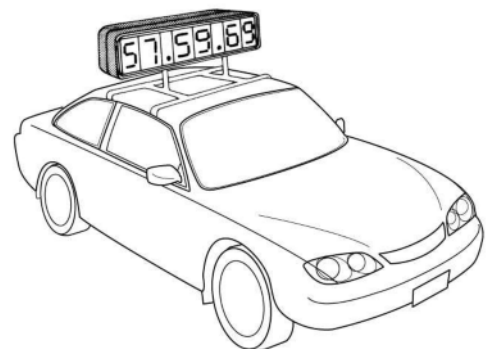
(2) オプションによる設置




- (a) スタンド (ST-20/ST-030) ※ST-20 は生産終了品です
 スポーツタイマーを乗せるスタンドです。
 ST-20/ST-030 添付の取扱説明書に従ってネジで固定してください。



 警告	平坦な場所を選び、固定ネジを十分に締め付けてください。風圧・接触・振動などで製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。	
	スタンド (ST-20/ST-030) を使用し、スポーツタイマーを取り付けたときは、風速 15m/s 以上では使用しないでください。製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。	

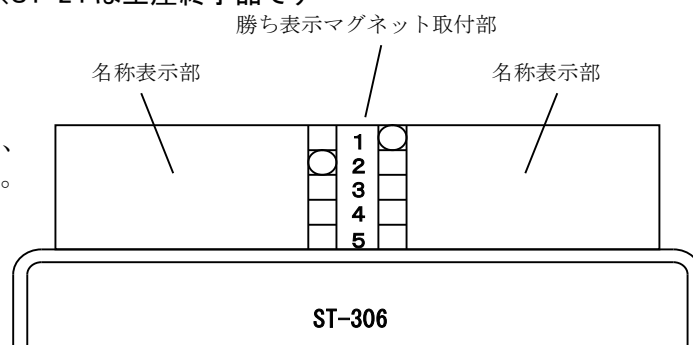
- (b) 車載用金具 (ST-21) ※ST-21 は生産終了品です
 車のルーフレールキャリアにスポーツタイマーを固定するためのオプションです。
 ST-21 添付の取扱説明書に従ってください。
 車種によっては使用不可能な場合もあります。
 ルーフキャリアの購入や使用に間には、専門のカーショップなどにお問い合わせください。



 警告	固定ネジを十分に締め付けてください。風圧・接触・振動などで製品が落下・転倒し、人身事故に至ることがあります。	
	車載用金具 (ST-21) を使用し、スポーツタイマーを取り付けたときは、車速を 30km/h 以上にしないでください。製品が落下、人身事故に至ることがあります。	

(c) チーム名表示ユニット(ST-24) ※ST-24 は生産終了品です

スポーツタイマーの上部に固定し、チーム名およびセットポイントを表示するためのユニットです。用紙、フィルムなどに文字を記入し、名称表示部に差し込んで使用します。ST-24 添付の「組立および取付方法」をお読みください。



警告

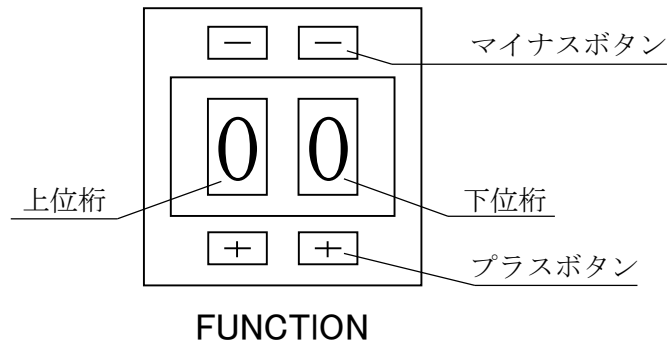
チーム名表示ユニット (ST-24) を取り付けるときは、チョウナットを十分に締め付け、丸棒を穴にきちんと差し込んでください。風圧・接触・振動などで製品が落下し、人身事故に至ることがあります。



7 FUNCTIONスイッチの設定

使用用途に合わせて、機能番号を設定するためのスイッチ(2桁)です。

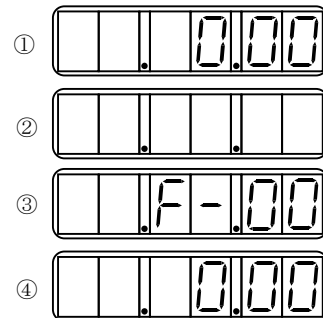
〔注〕 スイッチの設定を変更する場合は、一度 **POWER** スイッチを **OFF** にした後、ファンクションスイッチを変更し **POWER** スイッチを再び **ON** にしてください。動作中に番号を変更しても機能は変わりませんのでご注意ください。**FUNCTION** 機能一覧表 (P. 42) にない番号を選択した場合は動作しません。



設定した機能番号の確認

〔例〕 『00』と設定した場合

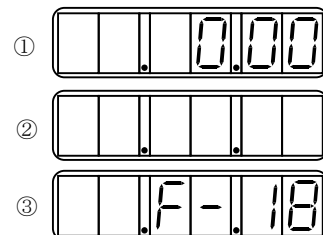
- ① **POWER** スイッチを **ON** にします。
- ② 表示が全てブラックアウトします。
- ③ 設定した機能番号『F-XX』を1秒間表示します。
- ④ 各種スイッチの設定に従って表示します。



FUNCTION機能一覧表にない番号を選択した場合

〔例〕 『18』と設定した場合

- ① **POWER** スイッチを **ON** にします。
- ② 表示が全てブラックアウトします。
- ③ 設定した機能番号『F-XX』を表示します。
- ④ 『F-XX』を表示したまま動作しません。
- ⑤ 正しい番号を選択してから、電源を入れ直してください。



8 使い方（1） 加算

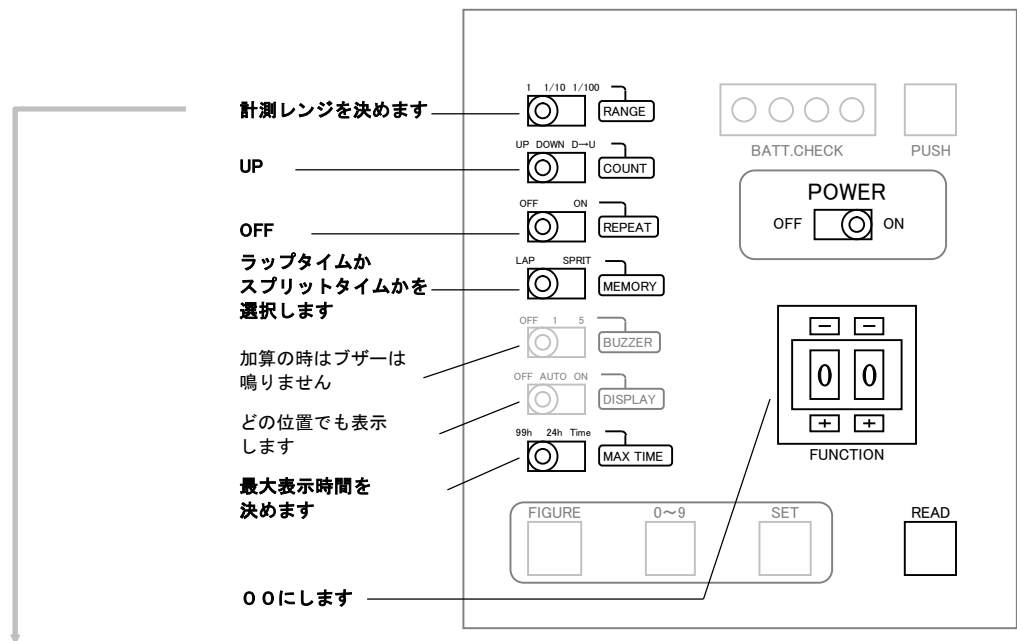
加算(COUNT UP)

ランニングタイム、ラップタイム、スプリットタイム、ゴールタイムの表示

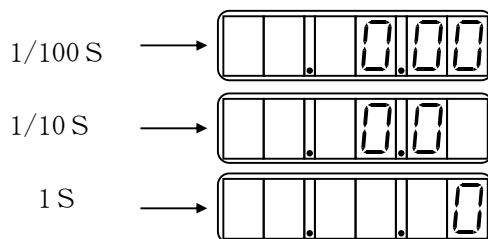
(1) 0からの加算

(a) 初期設定

- ① FUNCTIONを『00』にします。
- ② POWERスイッチをONにします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。



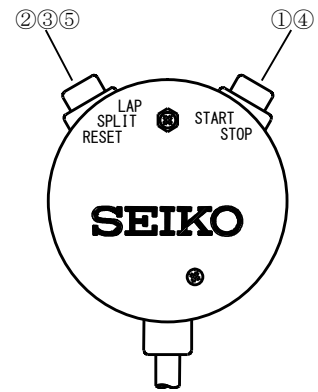
RANGEスイッチの設定により次のように表示されます。



〔注〕 1/10, 1/100 秒位はカウント中は表示されません。

(b) 通常の計測および表示

- ① START/STOP スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと押された時間で表示を停止し、約5秒後にランニングタイムに戻ります。同時にスイッチが押されたときの時間はメモリに記憶されます。
 タイム表示停止中に LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと、メモリにタイムは記憶されますが、タイム表示は変わりません。
 25回 LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと、メモリはいっぱいになります。(ラップは最後から25回分、スプリットは最初から25回分記憶します。)
 記憶されないときもタイム表示は約5秒間停止します。



＜SPLIT＞を選択したとき

- ③ LAP/SPLIT/RESET スイッチは、押される毎に約5秒間その時間で表示のみ停止します。

＜LAP＞を選択したとき

- ③ LAP/SPLIT/RESET スイッチは、押される毎に、前回 LAP/SPLIT/RESET スイッチが押された時からの時間を表示します。

- ④ START/STOP スイッチを押すとカウントは停止します。
- ⑤ LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと表示は 0, (0.0, 0.00) となり再測定ができます。
 メモリの内容は次の START/STOP が押されるまで保持されます。

(c) メモリーの読み出し

カウントが停止している状態で **READ** スイッチを押す毎に回数または着順とタイムが交互に表示されます。
 回数(着順)分読み出すと、再び1に戻り、繰り返し表示させることができます。
 メモリの読み出し終了後、再びタイマーを使用する場合は、グリップスイッチの LAP/SPLIT/RESET スイッチを押してください。
 (LAP/SPLIT/RESET スイッチを一度押さないと再スタートできません)

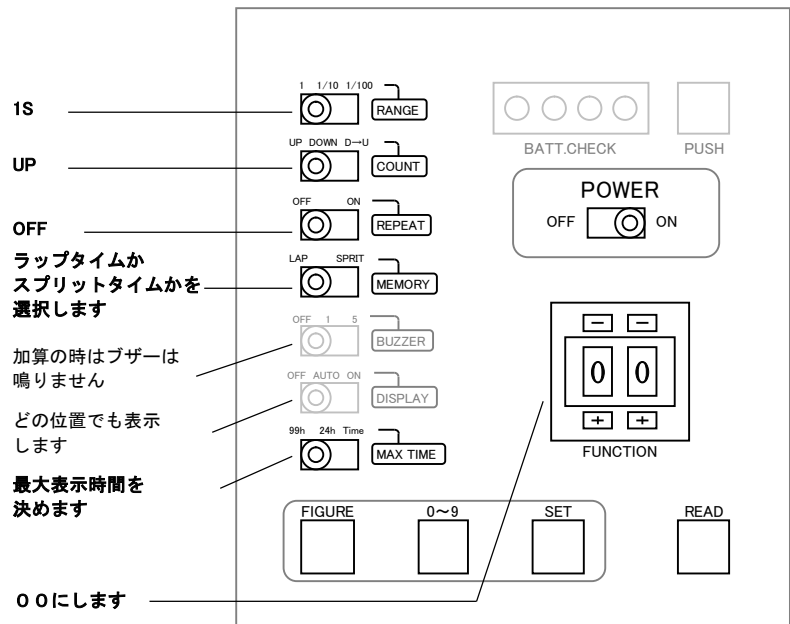


再スタートをする場合は、0からのスタートしかできません。

(2) 設定時間からの加算

(a) 初期設定

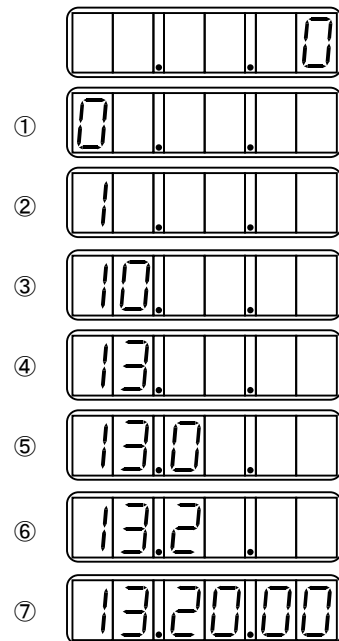
- ① **FUNCTION**を『00』にします。
- ② **POWER**スイッチをONにします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。



(b) 時間設定

[例] 13時20分00秒

- ① **FIGURE**スイッチを1回押します。
- ② 0~9スイッチを1回押します。
- ③ **FIGURE**スイッチを1回押すと、次の桁に移ります。
- ④ 0~9スイッチを3回押します。
- ⑤ **FIGURE**スイッチを1回押すと、次の桁に移ります。
- ⑥ 0~9スイッチを2回押します。
- ⑦ **SET**スイッチを押します。



(押さないとカウントをスタートしません)

RANGEスイッチを1/10, 1/100に設定した場合は時間の位は設定することはできません。

(最大59分59秒まで設定ができます。ただし、1秒未満の桁は設定することはできません。)

(c) 操作

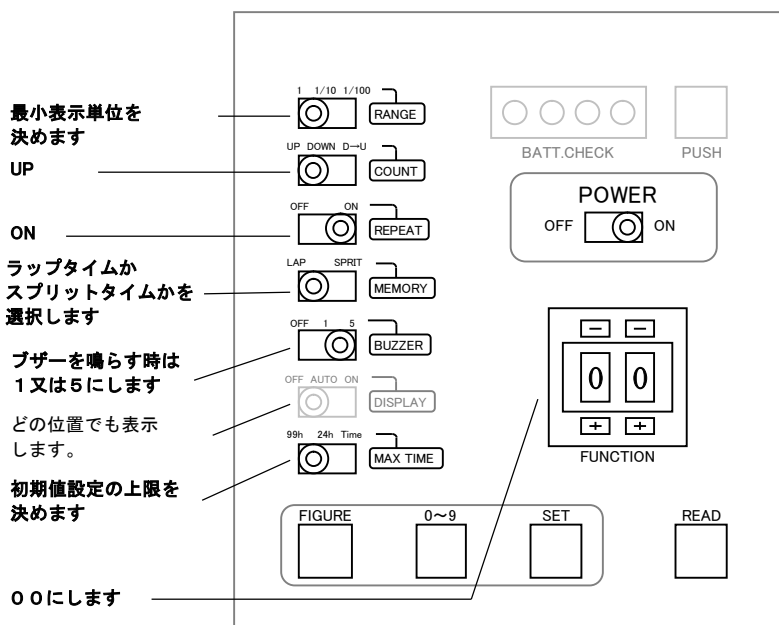
- ① **START/STOP**スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② **START/STOP**スイッチを押すとカウントは停止します。

9 使い方 (2) 加算リピート

加算リピート(UP)

(1) 初期設定

- ① FUNCTION を『00』にします。
- ② POWER スイッチをONにします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

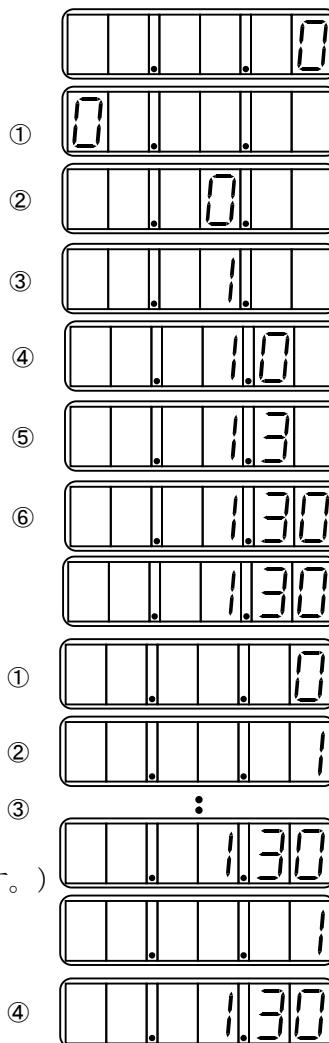


(2) 時間設定

〔例〕 1分30秒

(RANGE スイッチを1にした場合)

- ① FIGURE スイッチを1回押します。
- ② FIGURE スイッチをさらに3回押すと3つ桁が移ります。
- ③ 0~9 スイッチを1回押します。
- ④ FIGURE スイッチを1回押すと次の桁に移ります。
- ⑤ 0~9 スイッチを3回押します。
- ⑥ SET スイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(3) 操作および表示

- ① LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと 0 になります。
- ② START/STOP スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ③ カウントアップは、次に START/STOP スイッチが押されるまで繰り返します。
(START/STOP スイッチを押すとカウントは停止します。) タイムアップと同時にブザーが鳴ります。
- ④ 停止中に LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと初期状態になります。

1秒後

ブザーが鳴る

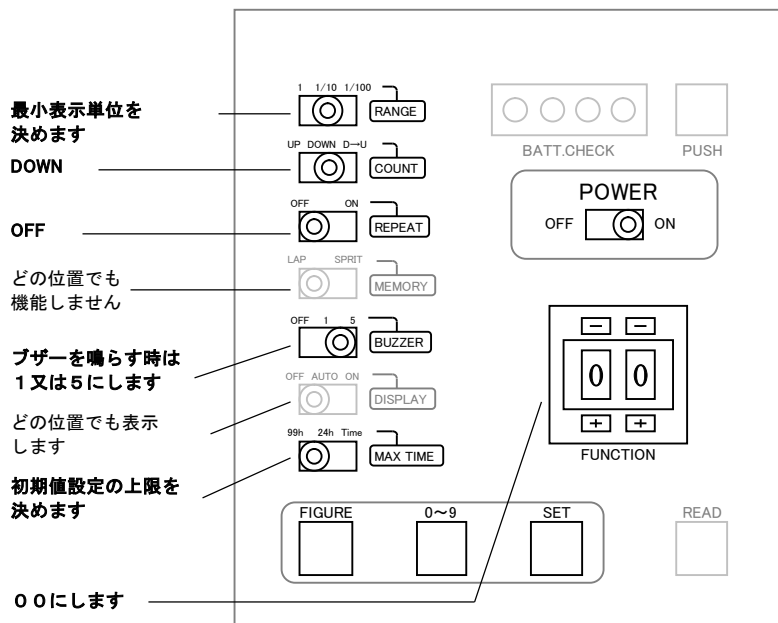
10 使い方 (3) 減算

減算(COUNT DOWN)

試合時間表示

(1) 初期設定

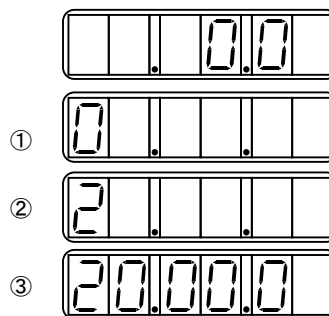
- ① FUNCTIONを『00』にします。
- ② POWERスイッチをONにします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。



(2) 時間設定

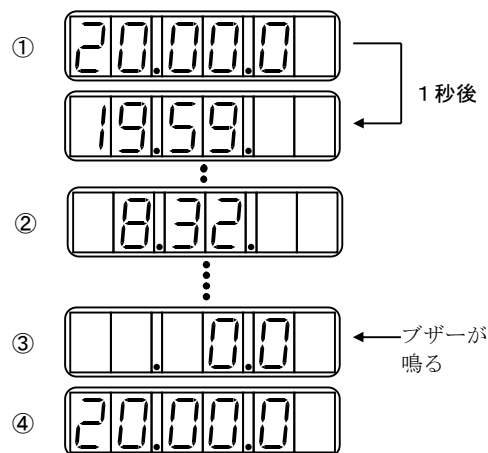
[例] 20分00秒0

- ① RANGEスイッチを1/10にした場合) FIGUREスイッチを1回押します。
- ② 0~9スイッチを2回押します。
- ③ SETスイッチを押します。途中でSETスイッチを押すと下位の桁は全て0になります。
※複数の桁を設定する場合は、①②を繰り返して最後にSETスイッチを押します。



(3) 操作および表示

- ① START/STOPスイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② START/STOPスイッチを押すとカウントは停止します。
以降、START/STOPスイッチを押す毎にカウント、停止を繰り返します。
設定したレンジに従った表示をします。
- ③ 0と同時にブザーが鳴ります。
- ④ 同じ設定時間で再び動作する場合は、LAP/SPLIT/RESETスイッチを押してから、START/STOPスイッチを押してください。
設定したレンジに従った表示をします。

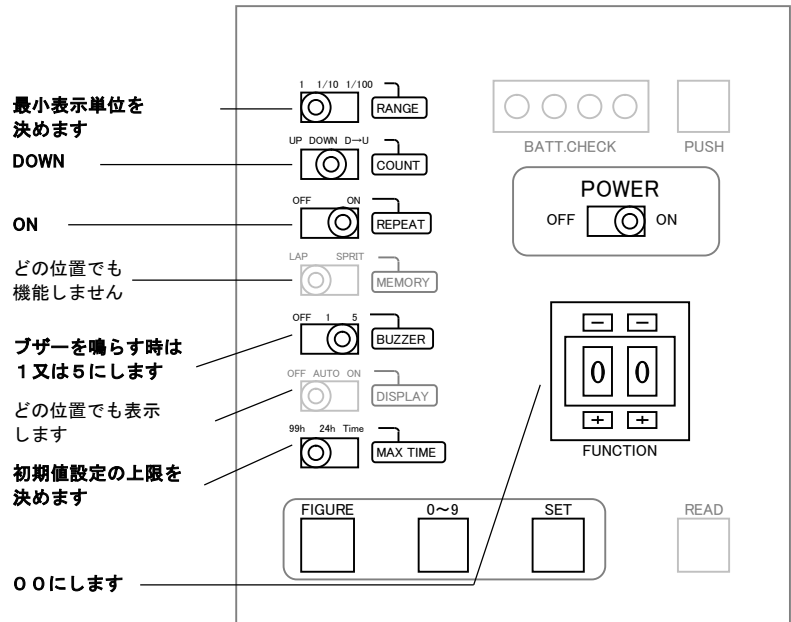


1 1 使い方 (4) 減算レポート

減算レポート(DOWN)

(1) 初期設定

- ① FUNCTIONを『00』にします。
- ② POWERスイッチをONにします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

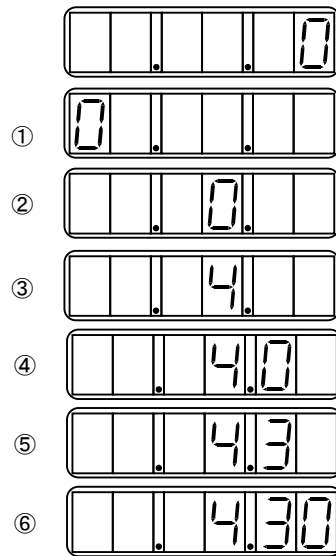


(2) 時間設定

[例] 4分30秒

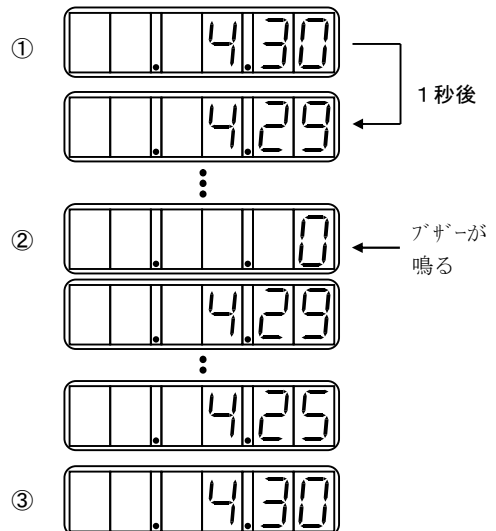
(RANGEスイッチを1にした場合)

- ① FIGUREスイッチを1回押します。
- ② FIGUREスイッチをさらに3回押すと3つ桁が移ります。
- ③ 0~9スイッチを4回押します。
- ④ FIGUREスイッチを1回押すと次の桁に移ります。
- ⑤ 0~9スイッチを3回押します。
- ⑥ SETスイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(3) 操作および表示

- ① START/STOPスイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② カウントダウンは、次にSTART/STOPスイッチが押されるまで繰り返します。
(START/STOPスイッチを押すとカウントは停止します。)
タイムアップと同時にブザーが鳴ります。
- ③ 停止中にLAP/SPLIT/RESETスイッチを押すと初期状態になります。

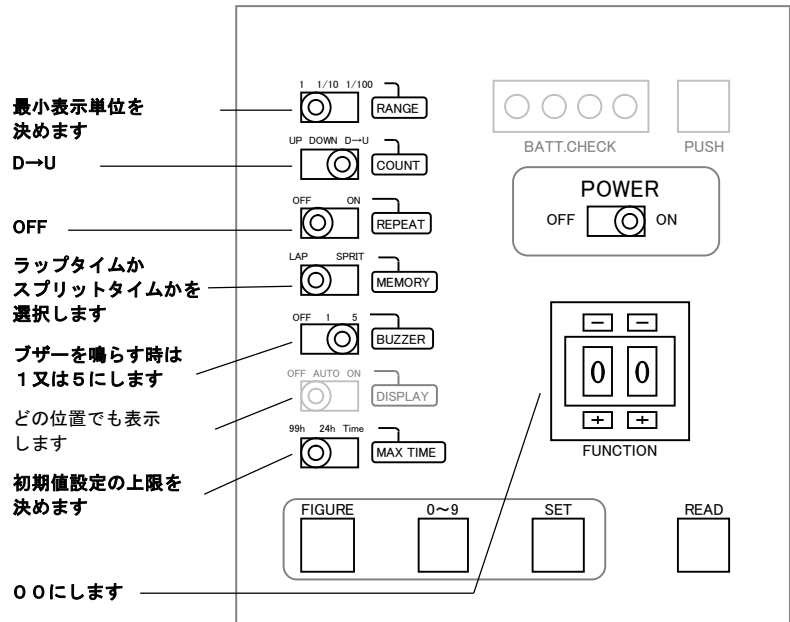


1 2 使い方 (5) 減算から加算 (手動)

減算 → 0 で一度停止後、グリップスイッチで加算する

(1) 初期設定

- ① FUNCTION を『00』にします。
- ② POWER スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

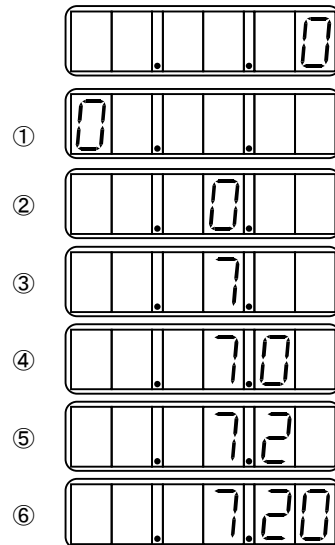


(2) 時間設定

[例] 7分20秒

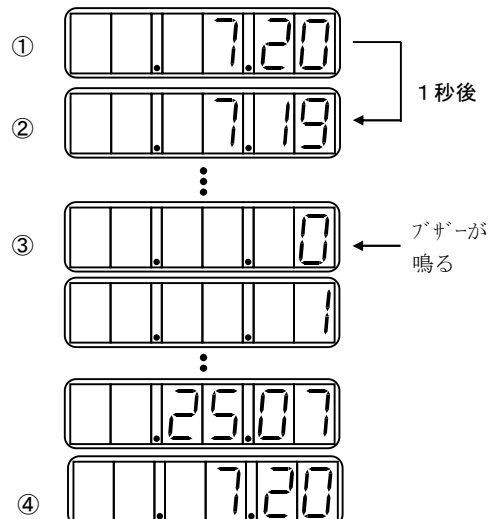
(RANGE スイッチを1にした場合)

- ① FIGURE スイッチを1回押します。
- ② FIGURE スイッチをさらに3回押すと3つ桁が移ります。
- ③ 0~9 スイッチを7回押します。
- ④ FIGURE スイッチを1回押すと次の桁に移ります。
- ⑤ 0~9 スイッチを2回押します。
- ⑥ SET スイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(3) 操作および表示

- ① START/STOP スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② カウントダウン
以降 START/STOP スイッチが押される毎にスタート、ストップ止を繰り返します。
- ③ 0 と同時にブザーが鳴り、停止します。
START/STOP スイッチを押すと加算します。
- ④ 停止中に LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと初期状態になります。



1.3 使い方 (6) 減算から加算 (自動)

減算 → 0 で停止しない (D → U)

(1) 初期設定

- ① FUNCTION を『00』にします。
- ② POWER スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

最小表示単位を
決めます

D→U

ON

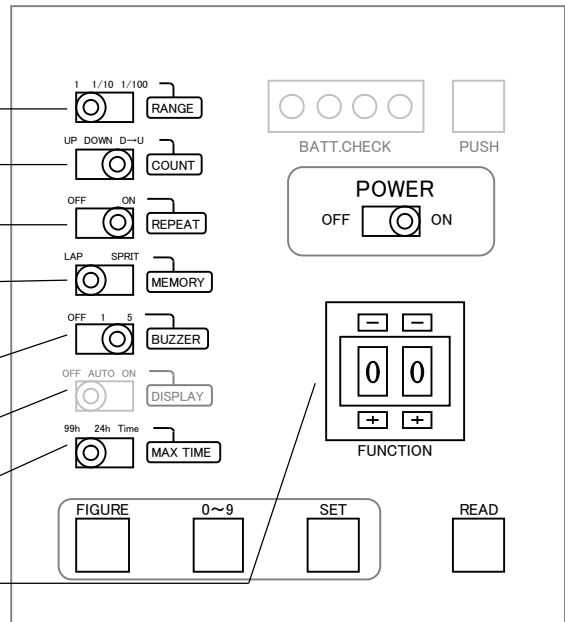
ラップタイムか
スプリットタイムかを
選択します

ブザーを鳴らす時は
1又は5にします

どの位置でも表示
します

初期値設定の上限を
決めます

00にします

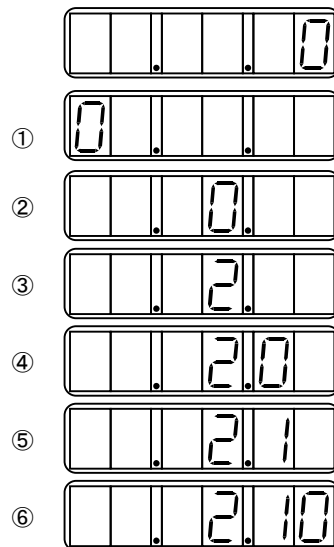


(2) 時間設定

[例] 2分10秒

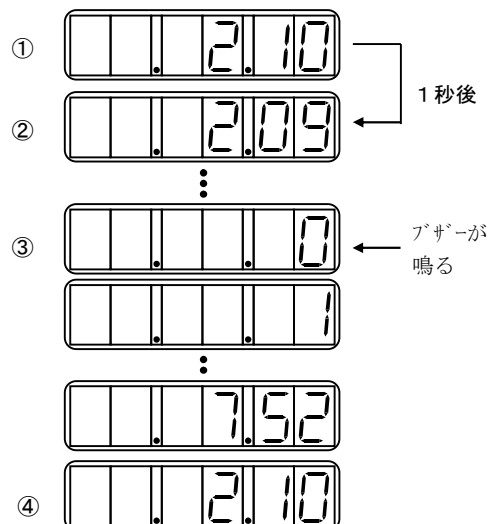
(RANGE スイッチを1にした場合)

- ① FIGURE スイッチを1回押します。
- ② FIGURE スイッチをさらに3回押すと3つ桁が移ります。
- ③ 0~9 スイッチを2回押します。
- ④ FIGURE スイッチを1回押すと次の桁に移ります。
- ⑤ 0~9 スイッチを1回押します。
- ⑥ SET スイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(3) 操作および表示

- ① START/STOP スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② カウントダウン
以降 START/STOP スイッチが押される毎にカウント、停止を繰り返します。
- ③ 0と同時にブザーが鳴り、停止せずにそのまま加算します。
- ④ 停止中に LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと初期状態になります。



1 4 使い方 (7) 時計表示

時間(TIME)

24 時間制時刻表示

(1) 初期設定

- ① **FUNCTION** を『00』にします。
- ② **POWER** スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

最小表示単位を決めます

どの位置でも機能しません

どの位置でも機能しません

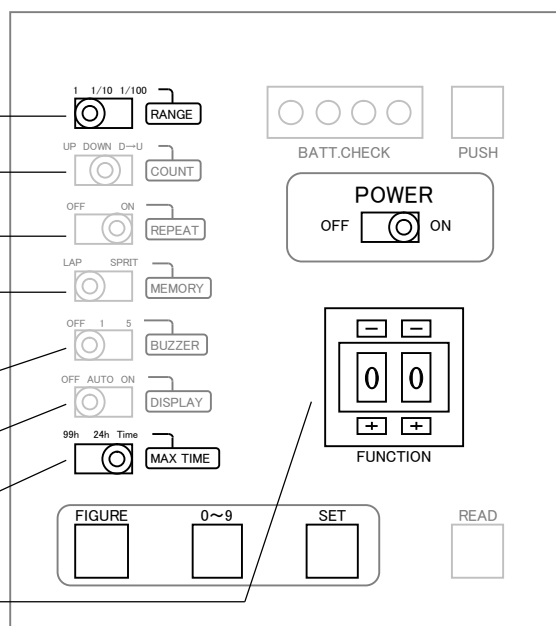
どの位置でも機能しません

Time の時ブザーは鳴りません

どの位置でも表示します

Time

00にします

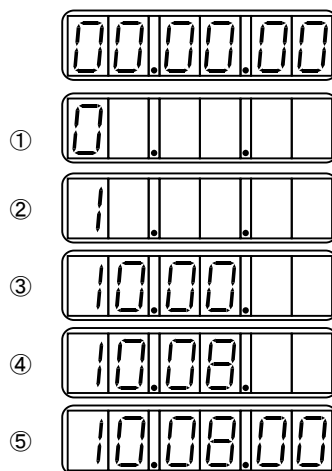


(2) 時間設定

[例] 10時8分00秒

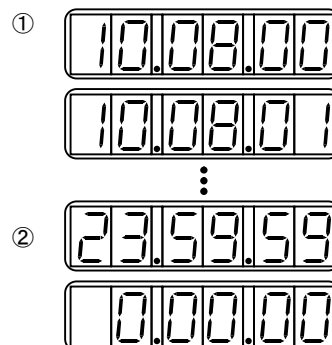
(**RANGE** スイッチを 1 にした場合)

- ① **FIGURE** スイッチを 1 回押します。
- ② 0~9 スイッチを 1 回押します。
- ③ **FIGURE** スイッチを 3 回押すと 3 つ桁が移ります。
- ④ 0~9 スイッチを 8 回押します。
- ⑤ **SET** スイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(3) 操作および表示

- ① **START/STOP** スイッチを押すとカウントがスタートします。
- ② カウントアップ
START/STOP スイッチが押されるまで繰り返します。



[注] 時刻表示の時は、ラップ・スプリット機能は無効です。
停止中に **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと 0 になります。

15 使い方 (8) スコア/回数表示 [標準得点]

標準得点モード

(1) 初期設定

- ① **FUNCTION** を『1 1』にします。
- ② **POWER** スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

どの位置でも機能しません

UP 又は DOWN を選択します
D→U は DOWN です

どの位置でも機能しません

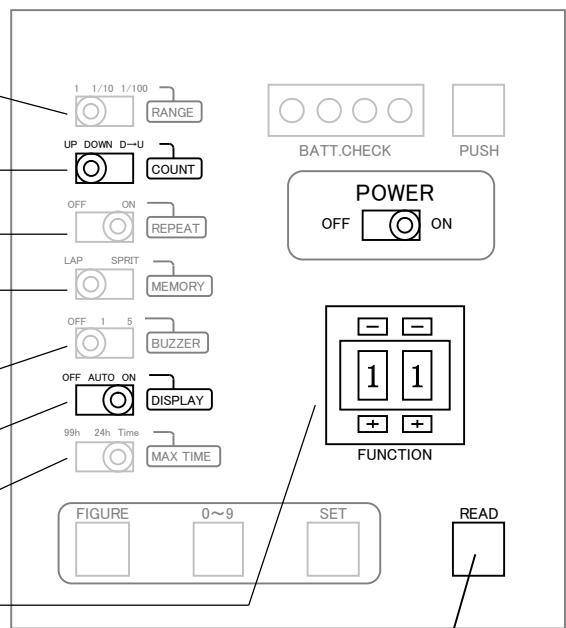
どの位置でも機能しません

スコア表示時ブザーは鳴りません

OFF にすると表示されません

どの位置でも機能しません

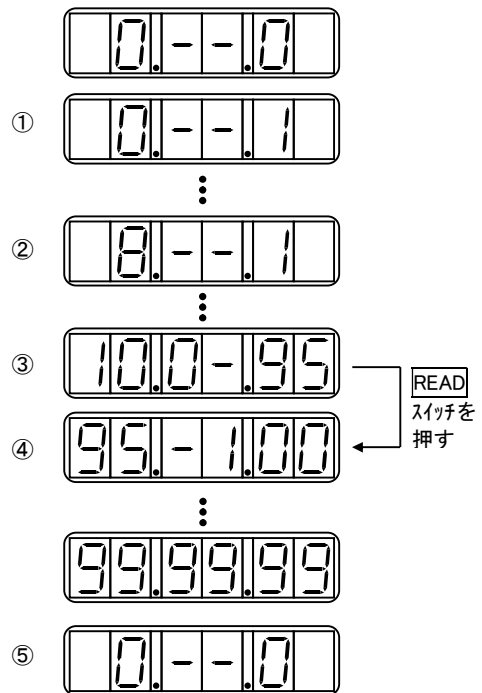
1 1 にします



1 回押す毎に
チェンジコートします

(2) 操作および表示

- ① **START/STOP** スイッチを押すと正面右側の得点を加算します。
- ② **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと正面左側の得点を加算します。
- ③ 得点が入るたびに、左右に加算します。
- ④ **READ** スイッチを押すとコートチェンジします。



※最大表示「999」対「999」

- ⑤ **START/STOP** と **LAP/SPLIT/RESET** を同時に1秒間押すとリセットします。

〈得点を減算修正する場合〉

COUNT スイッチを“DOWN”にし、修正する得点側のグリップスイッチを押し修正してください。

[注] 修正後は **COUNT** スイッチを“UP”にしてください。

16 使い方 (9) スコア/回数表示 [硬式テニス]

硬式テニス得点モード

(1) 初期設定

- ① **FUNCTION** を『1 2』にします。
- ② **POWER** スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

どの位置でも機能しません

UP または DOWN を選択します
D→U は DOWN です

どの位置でも機能しません

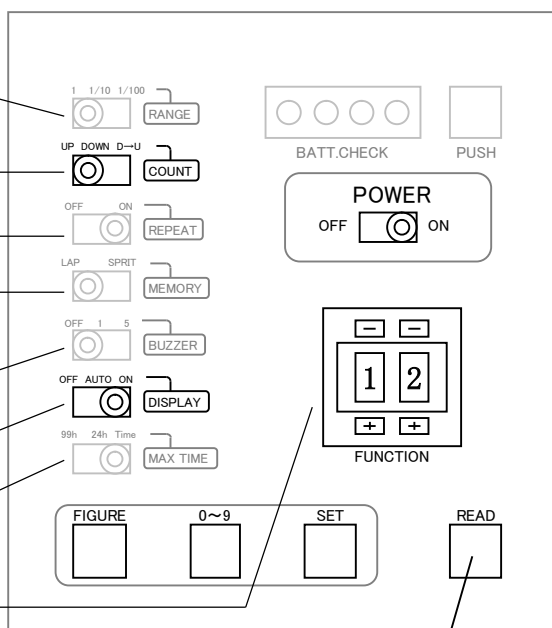
どの位置でも機能しません

スコア表示時ブザーは鳴りません

OFF にすると表示されません

どの位置でも機能しません

1 2 にします

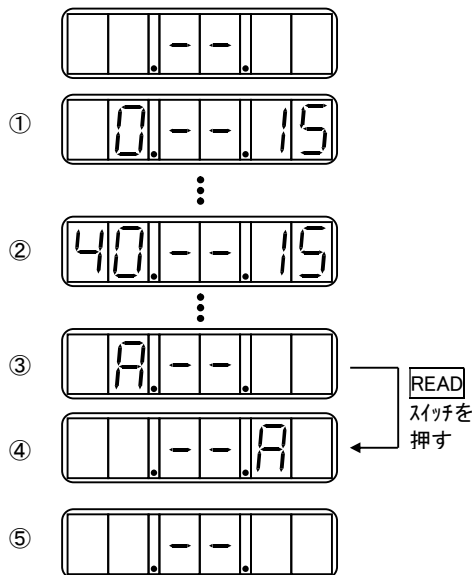


1 回押す毎にコートチェンジします

(2) 操作および表示

※電源投入時の初期値 (Deuce の得点) は “4 0” です。
初期値を変更する場合は先に初期値設定をする必要があります。

- ① **START/STOP** スイッチを押すと右側の得点を加算します。
- ② **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと左側の得点を加算します。
- ③ 得点が入るたびに、左右に加算します。
- ④ **READ** スイッチを押すとコートチェンジします。
- ⑤ **START/STOP** と **LAP/SPLIT/RESET** を同時に 1 秒間押すとリセットします。



〈得点を減算修正する場合〉

COUNT スイッチを “DOWN” にし、修正する得点側のグリップスイッチを押し修正してください。

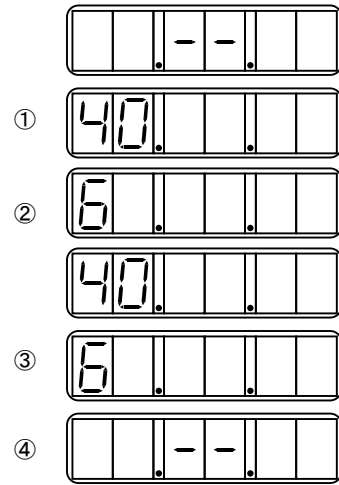
[注] 修正後は **COUNT** スイッチを “UP” にしてください。

(3) 初期値設定 (Deuce の得点を決定)

※電源投入時の初期値 (Deuce の得点) は “4 0” です。

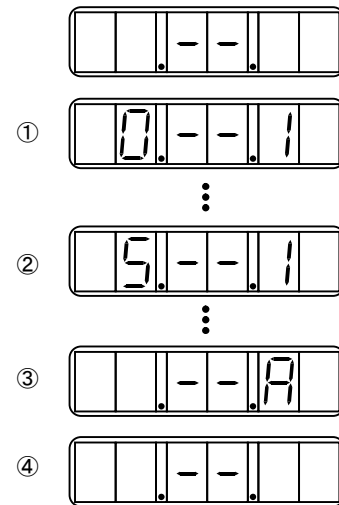
[例] タイブレーク

- ① **FIGURE** スイッチを1回押します。
- ② 0~9スイッチを1回押します。
- ③ 0~9スイッチを押すたびに、4 0か6に
表示が変わります。(6に合わせます)
- ④ **SET** スイッチを押します。
(押さないとカウントをスタートしません)



(タイブレーク時の操作および表示)

- ① **START/STOP** スイッチを押すと正面右側の
得点を加算します。
- ② **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと
正面左側の得点を加算します。
- ③ 得点が入るたびに、左右に加算します。
- ④ **START/STOP** と **LAP/SPLIT/RESET** を同時に
1秒間押すとリセットします。



17 使い方 (10) スコア/回数表示 [軟式テニス]

軟式テニス得点モード

(1) 初期設定

- ① **FUNCTION** を『1 3』にします。
- ② **POWER** スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。

どの位置でも機能しません

UP 又は DOWN を選択します
D→U は DOWN です

どの位置でも機能しません

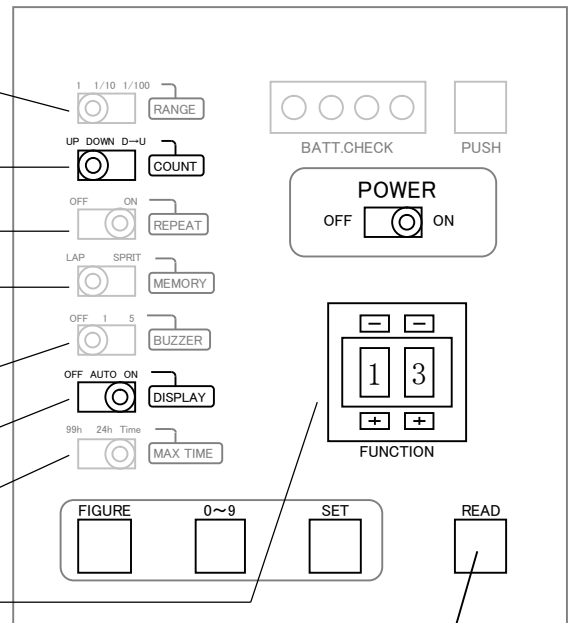
どの位置でも機能しません

スコア表示時ブザーは鳴りません

OFF にすると表示されません

どの位置でも機能しません

1 3 にします

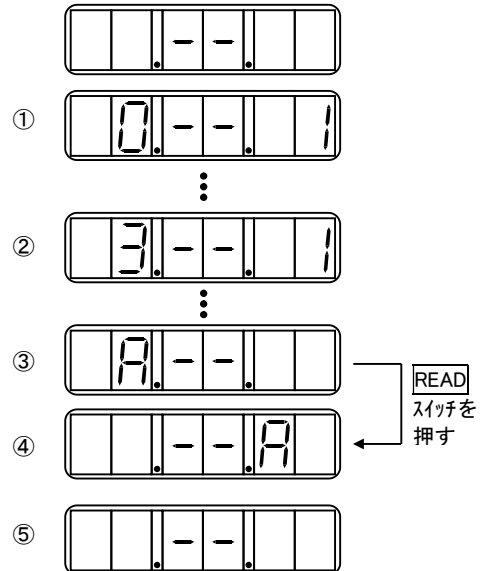


1 回押す毎にコートチェンジします

(2) 操作および表示

※電源投入時の初期値 (Deuce の得点) は “3” です。
初期値を変更する場合は先に初期値設定をする必要があります。

- ① **START/STOP** スイッチを押すと正面右側の得点を加算します。
- ② **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと正面左側の得点を加算します。
- ③ 得点が入るたびに、左右に加算します。
- ④ **READ** スイッチを押すとコートチェンジします。
- ⑤ **START/STOP** と **LAP/SPLIT/RESET** を同時に1秒間押すとリセットします。



〈得点を減算修正する場合〉

COUNT スイッチを “DOWN” にし、
修正する得点側のグリップスイッチを押し
修正してください。

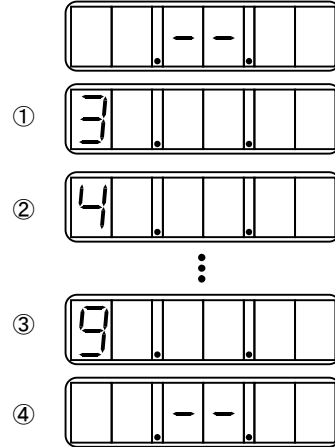
〔注〕 修正後は **COUNT** スイッチを “UP” にしてください。

(3) 初期値設定 (Deuce の得点を決定)

※電源投入時の初期値 (Deuce の得点) は “3” です。

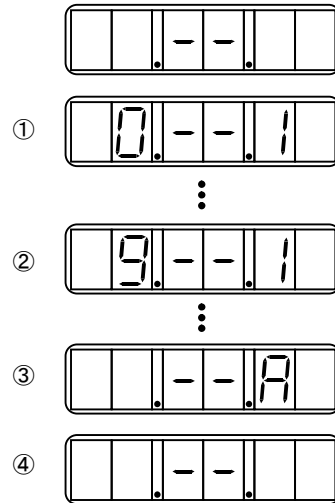
〔例〕 Deuce の得点が 「9」 の場合

- ① **FIGURE** スイッチを1回押します。
- ② 0~9スイッチを1回押します。
- ③ 0~9スイッチを押すたびに3~9と変わります。
(9に合わせます)
- ④ **SET** スイッチを押します。
(押さないとスタートしません)



(操作および表示)

- ① **START/STOP** スイッチを押すと右側の得点を加算します。
- ② **LAP/SPLIT/RESET** スイッチを押すと左側の得点を加算します。
- ③ 得点が入るたびに、左右に加算します。
- ④ **START/STOP** と **LAP/SPLIT/RESET** を同時に1秒間押すとリセットします。

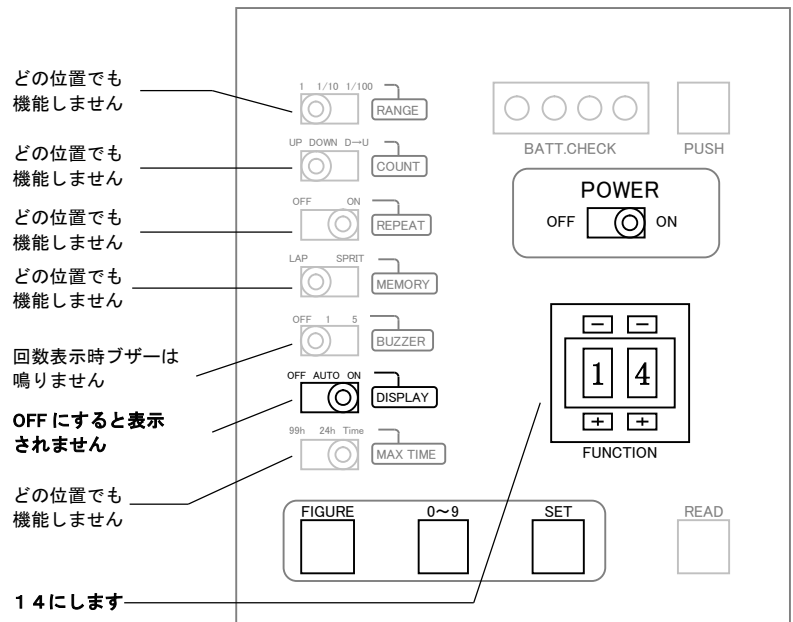


18 使い方 (11) スコア/回数表示 [回数表示]

回数表示モード

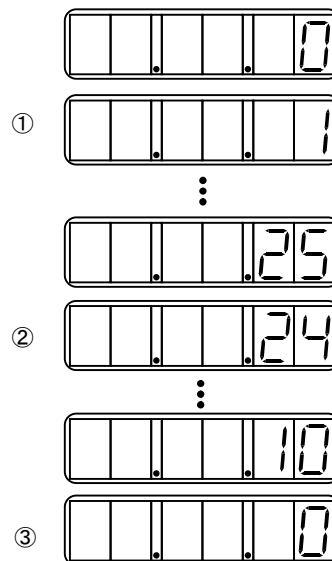
(1) 初期設定

- ① FUNCTION を『14』にします。
- ② POWER スイッチを ON にします。
- ③ スライドスイッチを右図に示す通りにします。



(2) 操作および表示

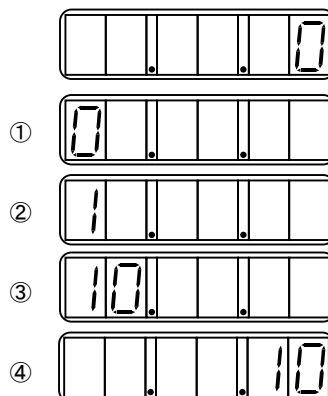
- ① START/STOP スイッチを押すと 1 カウント加算します。
- ② LAP/SPLIT/RESET スイッチを押すと 1 カウント減算します。
- ③ START/STOP スイッチと LAP/SPLIT/RESET スイッチを同時に 1 秒間押すとリセットします。



(3) 初期値設定

[例] 10 回

- ① FIGURE スイッチを 1 回押します。
- ② 0~9 スイッチを 1 回押します。
- ③ FIGURE スイッチを 1 回押すと次の桁に移ります。
- ④ SET スイッチを押します。



19 その他の機器との接続

[注] 外部機器を接続する場合は、**DISPLAY**スイッチの設定で表示方法が異なります。

OFF : 表示しない AUTO : 切断時に表示OFF ON : 常時表示

外部機器を接続する場合は、始めにケーブルを接続し、接続機器に合った FUNCTION を設定してから ST-306 及び外部機器の電源を ON にしてください。

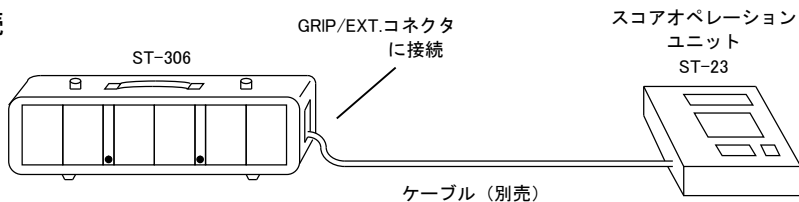
- (1) スコアオペレーションユニット(ST-23)との接続 ※ST-23は生産終了品です
オプションのスコアオペレーションユニットを追加することにより最大3桁999点までのスコアボードとして使用できます。

(a) 設定

FUNCTIONを『10』に設定します。

POWERスイッチを ON にします。

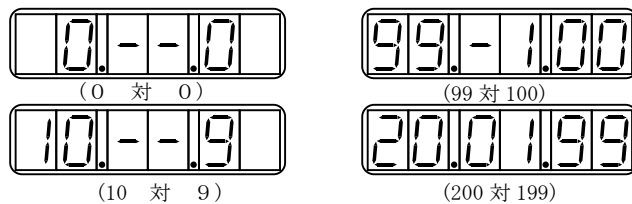
(b) 接続



(c) 表示内容

最大999対999までの表示

《表示例》



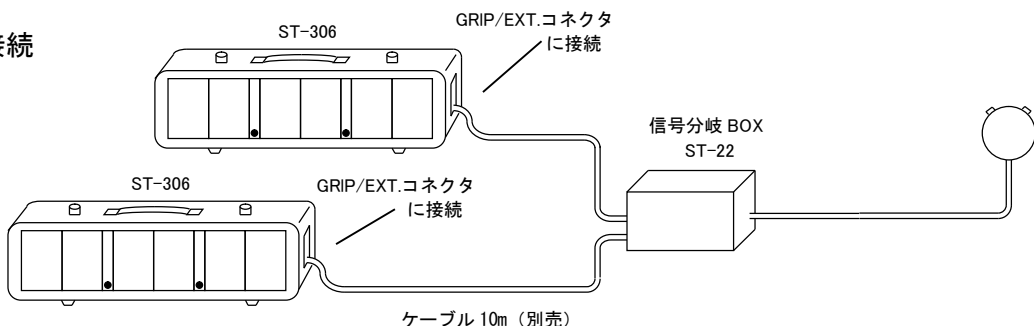
- (2) 信号分岐BOX(ST-22)との接続 ※ST-22は生産終了品です

(a) 設定

FUNCTIONを『00』に設定します。

POWERスイッチを ON にします。

(b) 接続



(c) 動作

2台の ST-306 を1つのグリップスイッチで、同時に動作 (スタート、ストップ、リセット) させることができます。但し、各 ST-306 の内部時計でカウントしているのので、2台を完全に同期させる場合は CT-2000 II /2000/1000/916 が必要です。

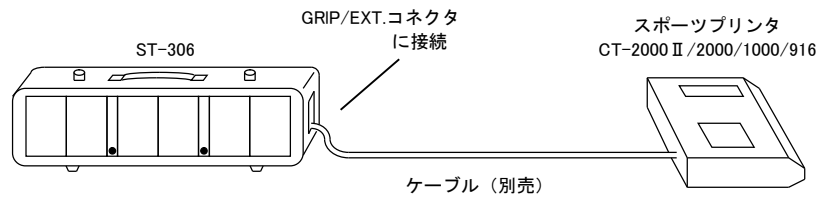
(3) スポーツプリンタ (CT-2000 II /2000/1000/916) との接続 [通常動作モード]

(a) 設定

FUNCTIONを『20』に設定します。

POWERをONにします。

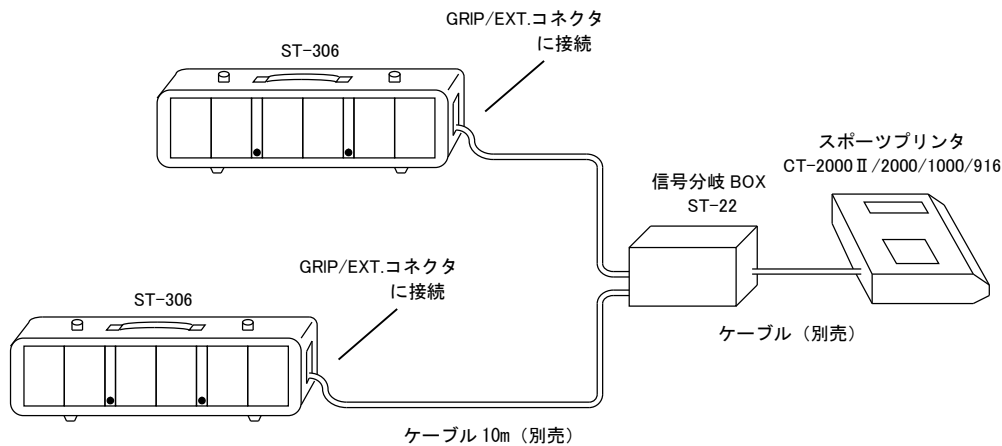
(b) 接続



〈信号分岐BOX (ST-22) を使用した場合〉

ST-306を2台接続できます。

2台のST-306は、CT-2000 II /2000/1000/916のタイムデータを表示するので、完全に同期します。



(c) 動作

スタート、スプリット、ラップ、ゴールの信号は全てCT-2000 II /2000/1000/916側から自動的にコントロールされます。CT-2000 II /2000/1000/916と接続した場合、ST-306のブザーは鳴りません。

(d) 表示内容

常時ランニングタイムを表示します。

ゴール時は約5秒間ゴールタイムを表示した後、ランニングタイムに戻ります。

ゴールタイム表示中にゴールしたものは表示されません。

リセット時の表示は、CT-2000 II /2000/1000/916とST-306のそれぞれの設定により次の表のようになります。

ST-306 \ CT-2000 II /2000/1000/916		1/100	1/10	1
		1/100		
1/10				
1				

の部分は設定禁止 (表示単位が測定単位より大きくなります)

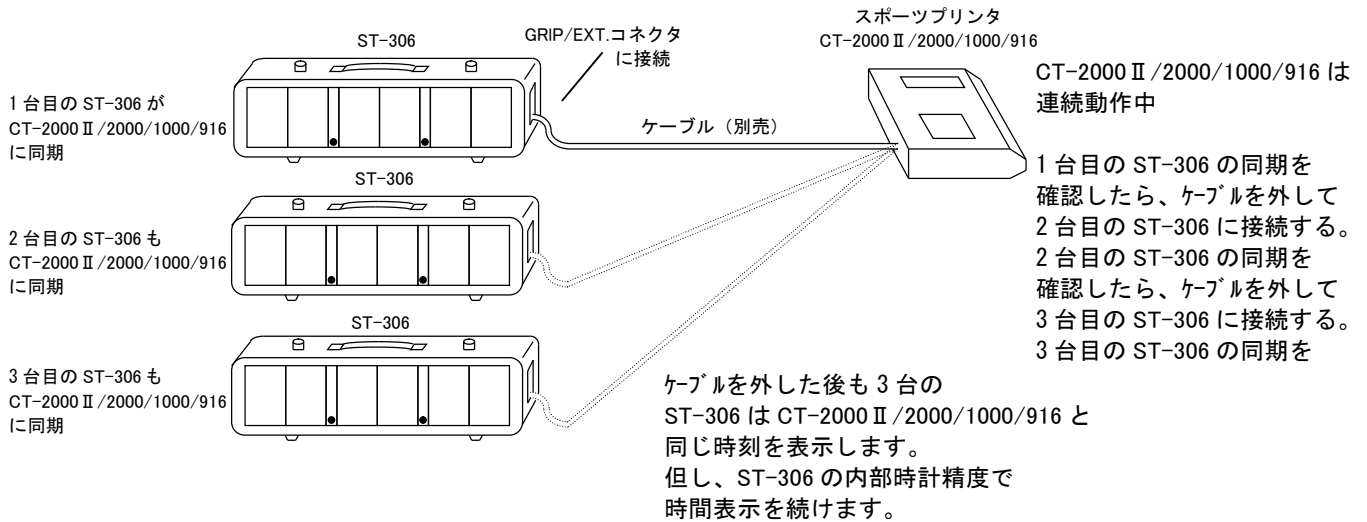
(4) スポーツプリンタ (CT-2000 II / 2000 / 1000 / 916) との接続 [外部同期モード]

(a) 設定

FUNCTIONを『2 1』に設定します。

POWERスイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 動作

接続中はCT-2000 II / 2000 / 1000 / 916側からのタイムデータを常に表示します。

コネクタを外した後は、CT-2000 II / 2000 / 1000 / 916に接続していたときのタイムデータを引き続き、ST-306の内部時計でカウントし表示し続けるので、複数のST-306を1台のCT-2000 II / 2000 / 1000 / 916の時間に簡易同期させることが可能です。

[注] **DISPLAY**をONにして、使用して下さい。(AUTOだと、コネクタを抜くと表示が消えます。)

減算の場合、**REPEAT**をONにしていなくても、CT-2000 II / 2000 / 1000 / 916とのコネクタを外した後、ST-306が「0」になると、「0」で止まらずに自動的にカウントアップします。

[注] 外部同期モードを使用する場合、コネクタを抜くときにST-306の電源をOFFにしないでください。

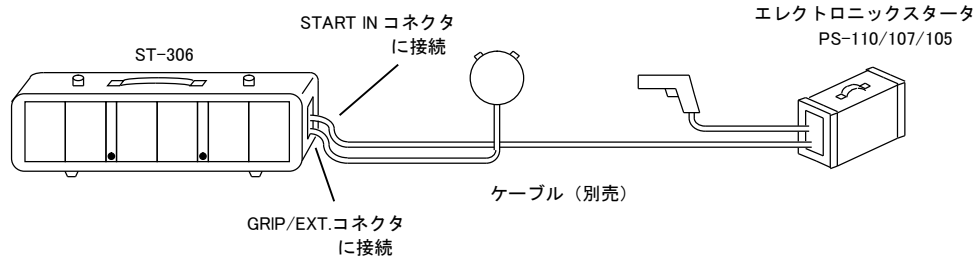
(5) エレクトロニックスタータ (PS-110/107/105) との接続

(a) 設定

FUNCTIONを『00』に設定します。

POWERスイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 動作

エレクトロニックスタータPS-110/107/105からの信号を受け、動作します。不正スタート(フライング)でPS-110/107/105を鳴らした時は、START/STOPスイッチを押してカウントを停止させ、LAP/SPLIT/RESETスイッチを押して表示を0に戻し、再スタートに備えます。

(6) スキー競技用計時装置 (CT-500/400/300) との接続

(a) 設定

FUNCTIONを設定します。

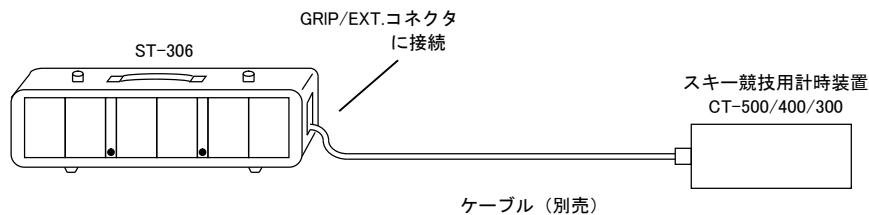
『30』 [1本目またはトータルタイムの表示]

『31』 [1本目または2本目のタイムの表示]

『32』 [スタートタイマーの表示] 注:CT-500/400

POWERスイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 動作

ゴール信号は全て計時装置側から自動的にコントロールされます。

ST-306の**RANGE**スイッチ操作は有効です。

(d) 表示内容

FUNCTIONの設定により、1本目またはトータルタイム、1本目または2本目のタイム、スタートタイマー(CT-500/400)が表示されます。

(7) 競泳用自動審判計時装置 (PT-8000/7000/6000) との接続

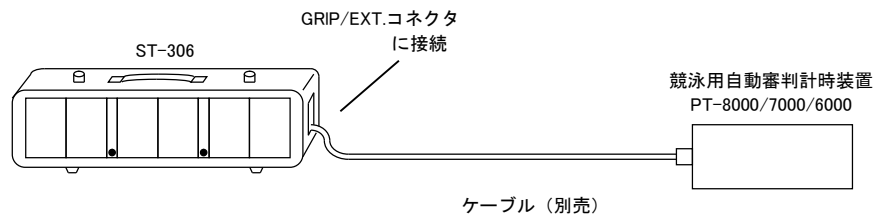
(a) 設定

FUNCTIONを設定します。

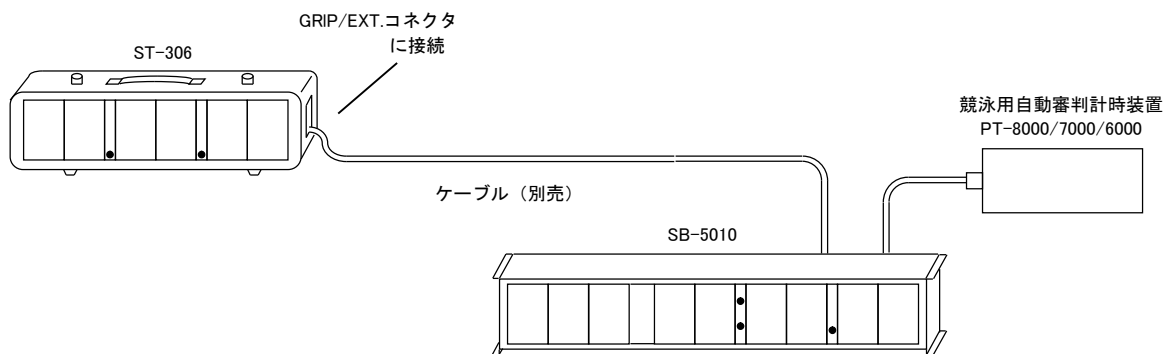
- 『40』 [ランニングタイムの表示]
 - 『41』 [競泳用スコアボード(SB-5010)経由のランニングタイムの表示]
 - 『42』 [ランニングタイムまたは1着のラップタイムの表示]
 - 『43』 [競泳用スコアボード(SB-5010)経由のプログラム番号およびヒート番号の表示]
 - 『50～59』 [着順スプリットタイムの表示]
 - 『60～69』 [レーン順スプリットタイムの表示]
- POWER** スイッチをONにします。

(b) 接続

FUNCTIONが『40』, 『42』, 『50～59』, 『60～69』の場合



FUNCTIONが『41』, 『43』の場合



(c) 動作

スタート、ラップ、ゴール、リセット信号は全て計時装置側から自動的にコントロールされます。

(d) 表示内容

ランニングタイム、プログラム番号およびヒート番号、着順・レーン順スプリットタイムを表示します。

(8) 室内競技操作盤 (ST-2000/900/800 シリーズ) との接続

(a) 設定

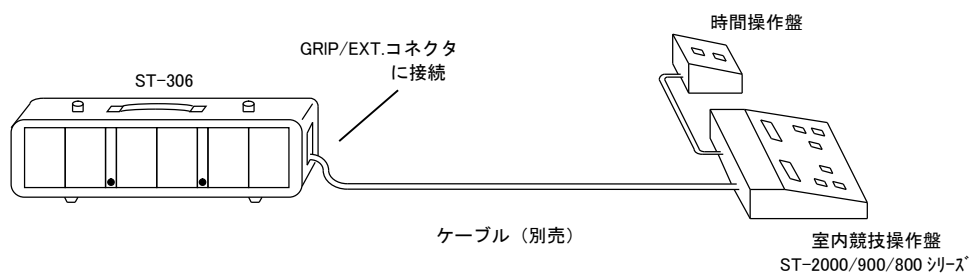
FUNCTIONを設定します。

『70』 [ゲームタイムの表示]

『71』 [得点の表示]

POWER スイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 表示内容

ゲームタイム、得点を表示します。

(9) ランニングタイム操作盤 (RT-520/120) との接続

(a) 設定

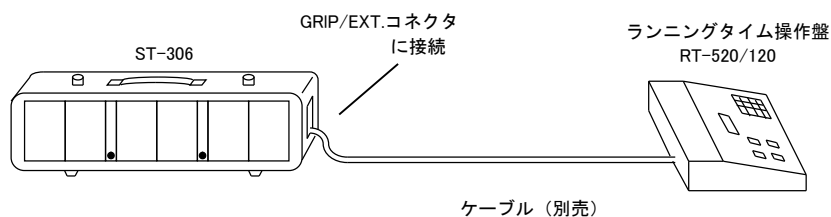
FUNCTIONを設定します。

『80』 [ランニングタイムの表示]

『81』 [ゼッケン番号の表示]

POWER スイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 表示内容

ランニングタイム、ゼッケン番号を表示します。

ST-306の **RANGE** スイッチ操作は有効です。

(10) デジタル風速操作盤 (WG-300/200) との接続

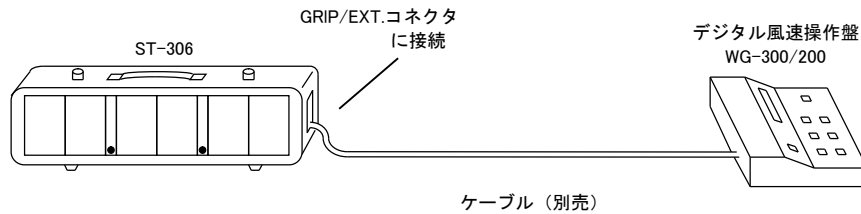
(a) 設定

〔風速の表示〕

FUNCTIONを『82』に設定します。

POWER スイッチをONにします。

(b) 接続



(c) 表示内容

風速を表示します。

(11) 光波距離計 (DM-400/200) との接続

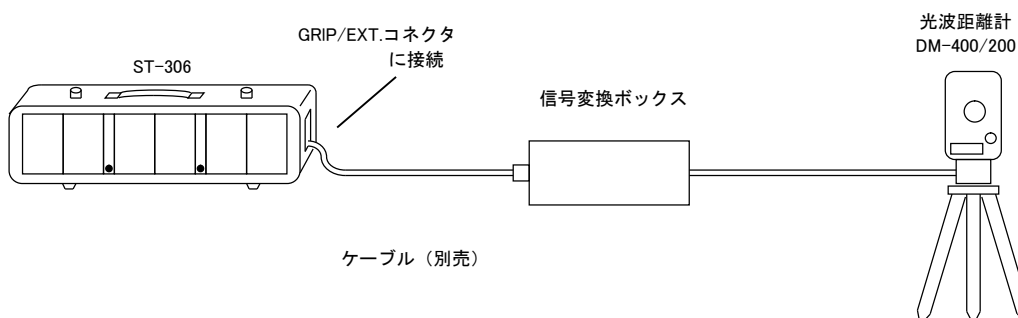
(a) 設定

〔距離の表示〕

FUNCTIONを『83』に設定します。

POWER スイッチをONにします。





(b) 接続



(c) 表示内容

距離を表示します。

(12) 接続上の注意

 注意	ケーブルを抜き差しする時は、 POWER(パワー) スイッチを切ってから行ってください。但し、CT-2000Ⅱ/2000/1000/916 と接続して外部同期モードで使用するときは除く。 
	機器付属ケーブル、外部機器接続専用ケーブル以外はご使用にならないでください。 焼損や故障の原因になります。 
	コネクタ部分に水を付けないでください。焼損や故障の原因になります。 

FUNCTION 機能一覧表

■: 設定禁止

		上位桁									
		0 x	1 x	2 x	3 x	4 x	5 x	6 x	7 x	8 x	9 x
機能		標準動作	得点/回数表示	スポーツプリンタ CT-2000 II / 2000/1000/916 との接続	スキー競技用 計時装置 CT-500/400/300 との接続	競泳用自動審判 計時装置 PT-8000/7000/6000 との接続	PT-8000/7000/6000 接続時の着順 スプリットタイム の表示	PT-8000/7000/6000 接続時のレーン順 スプリットタイム の表示	室内競技表示装置 ST-2000/900/800 との接続	陸上競技機器 との接続	未使用
下 位 桁	0	減算/加算など	ST-23/ SPT-800 との接続	ランニングタイム ゴールタイム の表示	1 本目と トータルタイム の表示	ランニングタイム の表示	10 着	10 レーン	ゲームタイム の表示	RT-520/120 の ランニングタイム ゴールタイム の表示	
	1		標準得点モード	内部時計同期	1 本目 2 本目 の表示	ランニングタイム の表示 (SB 経由)	1 着	1 レーン	得点の表示	RT-520/120 の ゼッケン番号 レーン番号 の表示	
	2		硬式テニス 得点モード		スタートタイマー の表示 (CT-500/400)	ランニングタイム または 1 着の ラップタイム の表示	2 着	2 レーン		WG-300/200 の風速の表示	
	3		軟式テニス 得点モード			プログラム番号 及びヒート番号 の表示(SB 経由)	3 着	3 レーン		DM-400/200 の距離の表示	
	4		回数表示モード				4 着	4 レーン			
	5						5 着	5 レーン			
	6						6 着	6 レーン			
	7						7 着	7 レーン			
	8						8 着	8 レーン			
	9						9 着	9 レーン			

20 操作上の注意点

(1) 電源投入の方法

POWERスイッチをONにする場合は、OFFにしてから10秒以上の間隔をあけてからにしてください。

(2) ブラックアウト（無表示）の方法

表示器の日焼けによる色あせを防ぐために、使用後は表示を全てブラックアウト（無表示）にすることをお勧めします。

方法は以下の通りです。

- ① **POWER**スイッチをOFFにする。
- ② **POWER**スイッチをONにする。
- ③ 表示が全てブラックになったらすぐに**POWER**スイッチをOFFにする。

表示が一部残る場合がありますが、この場合は最初からやり直してください。

表示が残ったままの状態でも、機能・性能に影響はありません。

(3) メモリ読み出し後の再スタート方法

グリップスイッチのSTOP時とRESET時にメモリを読み出すことができます。

メモリ読み出し後は、グリップスイッチのRESETスイッチを押して初期状態にしてください。一度RESETスイッチを押さないと再スタートできません。



(4) ブザー

POWERスイッチをOFFにした時、内蔵ブザーが一瞬鳴る場合がありますが、故障ではありません。

21 お使いの後に

本機は屋外仕様品ですが、長期に渡って屋外に常設しないでください。

ご使用の後は、水滴等を良く拭き取り屋内に保管してください。

 注意	長期間使用しないときは、乾電池を抜いてください。破裂・液漏れ・加熱により、けがや周囲の汚損の原因となります。	
---	--	---

2 2 仕様

電 源	単三乾電池 8本	
連 続 使 用 時 間 ※	アルカリ乾電池(LR6) 約 50 時間 (+25℃) マンガン乾電池(R6PU) 約 25 時間 (+25℃)	
表 示 器	磁気反転式ロータリーバー 黄色 文字高 200mm 6桁	
時 計 精 度	±0.04 秒/時 (+5℃~+35℃)	
外 形 寸 法	1230mm(W)×330mm(H)×150mm(D)	
質 量	12.5kg 以下	
グ リ ッ プ ス イ ッ チ	コード長 5m, φ60, START/STOP, LAP/SPLIT/RESET スイッチ付	
電 池 ボ ッ ク ス	単三乾電池 8本使用	
測 定 機 能 加 算 (ストップ ウォッチの 使用)	最 大 表 示 計 測 時 間	99 時間 59 分 59 秒 (59 分 59 秒 99)
	ラ ッ プ タ イ ム ・ ま た は ス プ リ ッ ト タ イ ム	計測回数は最大計測時間の範囲内で無制限
	メ モ リ お よ び 読 み 出 し	ラップまたはスプリットタイム 回数・タイム 最大 25 回まで、26 回以上は入りません。
	自 動 繰 り 返 し (REPEAT)	0 から設定時間までの間を自動的に繰り返します。 BUZZER を 1 秒/5 秒にすると、設定時間にブザーが 1 秒間/ 5 秒間鳴ります。
測 定 機 能 減 算	設 定 時 間	99 時間 59 分 59 秒 ~ 1 秒
	設 定 最 小 単 位	1 秒
	最 小 表 示 単 位	1/100 秒 (スイッチにより切換、ただしカウント動作中はブラックアウト)
	ス タ ー ト ・ ス ト ッ プ	設定時間内であれば何回でもスタート、ストップの動作が出来ます。
使 用 環 境	使 用 場 所	屋内・屋外 (但し、屋外に常設しないこと) 短時間の降雨は問題ありませんが、屋外に常設することは避けて下さい。 強風時、机上で使用する場合は落下しない位置に置いてください。
	温 度	0℃~+50℃ (但し、結露しないこと)
	湿 度	30%~80%RH (但し、結露しないこと)
そ の 他	防 塵 対 策	表示器ユニットはカバー付 プリント基板はレジストコーティング処理
	防 雨 構 造 動 作 中 の 姿 勢	雨天使用時に正常動作する構造とする。 左右の傾き +15° 以内 前後の傾き +30° 以内で使用する。
接 続 可 能 な 機 器	ST-23,PS-110/107/105,CT-2000 II 2000/1000/916, CT-500/400/300,PT-8000/7000/6000,ST-2000/900/800 シリーズ, RT-520/120,WG-300/200,DM-400/200	

※連続使用時間は、連続した加算機能で使用した場合の目安です。

使用状況、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所などにより連続使用時間は変動します。

この商品(付属品含む)の仕様は改良のため予告なく一部変更する事がありますのでご了承下さい。

2 3 故障と思われる前に

症 状	原 因	処 置
POWER スイッチを ON にしたが何も表示しない。	電池の容量不足。	バッテリーチェックを行い、赤ランプしか点灯しない場合は、電池を交換してください。
	電池の極性が違う。	電池を正しく入れてください。
START/STOP スイッチを押したがスタートしない。	グリップスイッチの接触不良。	グリップスイッチをきちんと接続してください。
	DOWN、または REPEAT ON で時間設定をしなかった。	DOWN モードとして LAP/SPLIT/RESET を押してください。
	初期値を入力したが、最後に SET スイッチを押していない。	SET スイッチを押して時間を設定してください。
	UP 時の REPEAT モードで LAP/SPLIT/RESET を押して 0 にしていない。	0 にして START/STOP スイッチを押してください。
	LAP/SPLIT/RESET スイッチと間違えて押した。	START/STOP スイッチを押してください。
外部機器を接続したが何も表示しない。	接続ケーブルの接触不良	ケーブルをきちんと接続してください。
	FUNCTION (機能) 番号が使用する外部機器と合っていない。	接続機器の正しい FUNCTION (機能) 番号を設定し電源を入れ直してください。
	本機の電源 ON の後に FUNCTION (機能) 番号を設定した。	FUNCTION (機能) 番号を設定した後に本機の電源を入れ直してください。
	DISPLAY が OFF になっている。	DISPLAY を AUTO か ON にしてください。
	外部機器が動作していない。	外部機器の電源スイッチおよび信号送出スイッチなどを ON にして、信号を送出してください。

当製品に関するお問い合わせおよび修理依頼は、下記ホームページよりご連絡ください。

セイコータイムクリエーション株式会社

タイムシステム・FA 事業本部

<https://www.seiko-stc.co.jp>



セイコータイムクリエーション株式会社